

公 表 用

平成 2 3 年 度

積 算 基 準 (歩 掛 ・ 単 価)

平成 2 3 年 4 月 1 日 以 降 適 用

長 崎 県 農 林 部 農 村 整 備 課

積算基準(単価・歩掛)の公表について

1. はじめに

長崎県農林部農村整備課が発注する農業農村整備工事のうち、農村整備課の独自調査により決定したものを公表するものである。

2. 内容

1) 単価

単価については 平成23年度積算基準(単価・歩掛)長崎県土木部 公表用による。

2) 歩掛

長崎県農林部農村整備課の歩掛の大半は国が制定した歩掛をそのまま、準用しており、これらの歩掛は既に国において市販公表されている。よって、本書には当該が独自に制定した歩掛及び「市販公表用図書」の一覧を掲載している。

3. その他

1) 本書の内容に関する質問は原則として受け付けない。

2) 本書は、平成23年4月1日以降積算を行い発注する工事から適用する。

長崎県が使用している市販公表用図書一覧

歩 掛 名	発 行	連 絡 先
平成22年度 土地改良工事積算基準(土木工事) (施設機械) (調査・測量・設計) (機械経費)	農業農村整備総合情報センター	〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10番16号 MY ARK日本橋ビル2階 TEL (03)5695-7170

平成 2 3 年 度 4 月

公表用歩掛・単価目次

番号	工 種	番号	工 種
1	ダンプトラック運搬(コン塊・アス塊)	31	架設桁架設:架設機械移動
2	バックホウ積込(コンクリート塊)	32	架設桁架設:軌道設置・撤去
3	ブルドーザ締固め(特殊)	33	架設桁架設:アンカー工
4	石積工(空・練積)	34	架設桁架設:架設機械器具費
5	裏込工(ブロック積・ブロック張)	35	架設桁架設:架設桁運搬費
6	裏込工(石積・石張)	36	横組工:鉄筋工
7	アンカー工(鋼材挿入工)	37	横組工:コンクリート工
8	芝工(耳芝)	38	横組工:PCケーブル横締工
9	U型溝据付工(2種、4種)	39	横組工:緊張工
10	管(函)渠型側溝[L=2000-φ600まで]	40	横組工:緊張ジャッキ損料
11	捨石投入	41	ブルドーザ敷均(2次運土・客土)
12	捨石均し(陸上部)	42	法面ほ場整備整地工(ブルドーザ)
13	捨石均し(水中部)	43	暗渠排水工(バックホウ掘削)
14	被覆石投入	44	人力石礫除去工
15	被覆石均し(陸上部)	45	保孔管挿入工(ガス管)
16	被覆石均し(水中部)	46	ガス管孔あけ加工
17	碇着鉄筋	47	保孔管設置
18	方塊ブロック製作	48	地すべり実態調査
19	ブロック据付・仮置(海上一連方式)	49	地下水調査(携帯用触針式水位計)
20	流量計(ウォルトマン型)設置	50	パイプ歪計
21	積上げボックスタイプ据付	51	孔内傾斜計
22	ポリエチレン管布設	52	ボーリングマシン足場工
23	路盤工(下層・車道部)	53	ため池堤体締固工(振動ローラ締固め)
24	ガードレール設置	54	法止ブロック
25	ポストテンション桁製作工	55	カーブミラー設置
26	ポストテンション桁製作工:機械器具損料	56	落口工人力布設
27	トラッククレーンPC桁架設(橋梁下)	57	分水トラフ
28	トラッククレーンPC桁架設(橋梁背面)	58	(単価)ガードレール基本3色加算額
29	架設桁架設:ポストテンション桁架設	59	(単価)報告書作成用単価一覧表
30	架設桁架設:架設機械据付・解体		

1	名称	ダンプトラック運搬(コン塊・アス塊)		施工単位	m ³		
1. 適用範囲							
ダンプトラックによるコンクリート塊、アスファルト塊の運搬に適用する。							
2. 土質区分の選択							
表1							
土質区分		土質による補正係数(K)					
土砂		1.00					
コンクリート塊(無筋)		1.30					
コンクリート塊(有筋)		1.37					
アスファルト塊		1.30					
3. 機械損料算定表							
表2							
運搬機械区分(ton)		運転労務数量(人/日)		燃料消費量(L/日)		機械損料数量	
4.0		1		42		1.16	
2.0		1		25		1.17	
4-1. ダンプトラック4.0tonの運搬距離区分、積込機械区分及びDID通行区分の選択						表3.1	
運搬距離(4.0ton)		積込機械区分					
		DID区分					
		山0.80(平0.60)		山0.45(平0.35)			
		無し	有り	無し	有り		
0.2km以下		0.17	0.17	0.19	0.19		
1.0km以下		0.22	0.22	0.24	0.24		
1.5km以下		0.27	0.27	0.29	0.29		
2.0km以下		0.32	0.32	0.34	0.34		
2.5km以下		0.32	0.37	0.34	0.39		
3.0km以下		0.37	0.37	0.39	0.39		
3.5km以下		0.37	0.42	0.39	0.44		
4.0km以下		0.42	0.47	0.44	0.49		
4.5km以下		0.47	0.47	0.49	0.49		
5.0km以下		0.47	0.52	0.49	0.54		
5.5km以下		0.52	0.52	0.54	0.54		
6.0km以下		0.52	0.57	0.54	0.59		
7.0km以下		0.57	0.57	0.59	0.59		
7.5km以下		0.57	0.77	0.59	0.79		
9.0km以下		0.77	0.77	0.79	0.79		
10.0km以下		0.77	0.87	0.79	0.89		
12.0km以下		0.87	0.87	0.89	0.89		
13.0km以下		0.87	1.07	0.89	1.09		
17.0km以下		1.07	1.07	1.09	1.09		
19.0km以下		1.07	1.47	1.09	1.49		
27.0km以下		1.47	1.47	1.49	1.49		
35.0km以下		1.47	2.27	1.49	2.29		
60.0km以下		2.27	2.27	2.29	2.29		

1	名称	ダンプトラック運搬(コン塊・アス塊)	施工単位	m ³
---	----	--------------------	------	----------------

4-2. ダンプトラック2.0tonの運搬距離区分、積込機械区分及びDID通行区分の選択表3.2

運搬距離(2.0ton)	積込機械区分			
	DID区分			
	山0.80(平0.60)		山0.45(平0.35)	
	無し	有り	無し	有り
0.3km以下	0.33	0.33	0.39	0.39
1.0km以下	0.38	0.38	0.44	0.44
1.5km以下	0.48	0.48	0.54	0.54
2.5km以下	0.58	0.58	0.64	0.64
3.0km以下	0.68	0.68	0.74	0.74
3.5km以下	0.78	0.78	0.84	0.84
4.5km以下	0.88	0.88	0.94	0.94
5.0km以下	0.98	0.98	1.04	1.04
5.5km以下	0.98	1.18	1.04	1.24
6.5km以下	1.18	1.18	1.24	1.24
7.0km以下	1.18	1.38	1.24	1.44
8.0km以下	1.38	1.38	1.44	1.44
9.0km以下	1.38	1.68	1.44	1.74
11.0km以下	1.68	1.68	1.74	1.74
12.0km以下	1.68	2.18	1.74	2.24
15.0km以下	2.18	2.18	2.24	2.24
17.0km以下	2.18	2.88	2.24	2.94
24.0km以下	2.88	2.88	2.94	2.94
28.5km以下	2.88	4.38	2.94	4.44
60.0km以下	4.38	4.38	4.44	4.44

- ・上表は、土砂を10m³当たり運搬する日数である。
- ・運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。

5. 路面条件の選択 表4

路面条件
良好
普通
不良

- ・消耗部品(タイヤ)の適用条件は、下記による。
- 良好： 舗装道その他これに準ずる良好な搬路における運行が主な場合。
- 普通： 路面がよく維持されている砂利道又はこれに準ずる搬路における運行が主な場合。
- 不良： 破碎岩の混入する搬路又は、河床路上等における運行が主でタイヤの損耗が著しいと認められる場合。

能力算定式

1. 1日当たり作業量(QD)は次の算定式によって求める。 (m³/日)

$$QD = \frac{1.0}{\text{表3.1又は表3.2(10m}^3\text{当たりダンプトラック運搬日数)}} \times 10 \times \frac{1.0}{\text{表1(土質による補正係数(K))}}$$

1	名称	ダンプトラック運搬(コン塊・アス塊)		施工単位	m ³
施工単価構成内訳				10m3当たり算出	
	名称	規格	数量	単位	備考
(1)	ダンプトラック	表2	表1*表2*(表3.1または表3.2)	供用日	
(2)	消耗部品費	タイヤ	表1*表2*(表3.1または表3.2)	供用日	
(3)	軽油		表1*表2*(表3.1または表3.2)	L	
(4)	運転手(一般)		表1*表2*(表3.1または表3.2)	人	
(5)	合計				Σ(1)~(4)
(6)	単価		1.0	m3	(5)/10.0
(7)	1日当たり作業量			m3	QD

2	名称	バックホウ積込(コンクリート塊)		施工単位	m ³
1. 適用範囲					
バックホウによるコンクリート塊(破碎後)を運搬機械(ダンプトラック10t以外)へ積込作業を行う場合に適用する。					
2. 作業区分、規格区分、運転手の選択				表1	
作業区分		規格区分	1日当り施工量QD(m ³)		
コンクリート塊の積込	山積0.45m ³ (平0.35m ³)		130		
	山積0.80m ³ (平0.60m ³)		260		
3. 排出ガス対策区分及び機械損料の選択				表2	
作業区分		規格区分	排出ガス区分	燃料消費量(L/日)	機械損料数量
コンクリート塊の積込	山積0.45m ³ (平0.35m ³)		排対型(1次)	58	1.38
	山積0.80m ³ (平0.60m ³)		排対型(2次)	108	1.46
4. 補助労務					
・コンクリート塊の集積、積込の補助として普通作業員(0.4人/10.0m ³)を含む。					
施工単価構成内訳				QDm ³ 当り算出	
名称		規格	数量	単位	備考
(1)	バックホウ	表1	表2	日	
(2)	軽油	ハトロール給油	表2	L	
(3)	運転手(特殊)		1	人	
(4)	普通作業員		0.4/10*表1	人	
(5)	合計				Σ(1)～(4)
(6)	単価		1.0	m ³	(5)／QD
(7)	1時間当り作業量				QD

3	名称	ブルドーザ締固め(特殊)			施工単位	m ²
---	----	--------------	--	--	------	----------------

1. 適用範囲
ブルドーザによる一般工事(道路工事以外)の締固め作業に適用する。

2. 適用機種 表1

機種の選択	運転時間 (h)	1回の締固め幅 (W)	軽油使用量 (L)	締固め回数 (N)	運転労務	労務数量(人)
普通ブル 15t	5.4	0.8	18	5	運転手(特殊)	0.19
普通ブル 21t	6.9	0.9	27	4	運転手(特殊)	0.14
湿地ブル 13t	5.4	1.3	14	4	運転手(特殊)	0.19
湿地ブル 16t	5.4	1.5	18	4	運転手(特殊)	0.19

・締固め回数は標準を明示しており、現場条件により適宜決定すること。

3. 作業効率 表2

作業条件	作業効率(E)
良好	0.80
普通	0.60
不良	0.40

作業条件は下記による。

良好： 盛土材料の供給能力と作業能力とのバランスがよく、土質、粒度配合の適正もよく、作業現場の起伏が無く、妨害がないような場合。

不良： 盛土材料の供給能力と作業能力とのバランスが悪く、待ち時間が多いか、土質、含水比の状態が悪く、作業現場の地形が複雑で作業ロスが多いような場合。

普通： 上記の諸条件がほぼ中位と考えられる場合。

4. 運転1時間当たりの作業量(A) (m²/時間)

$$A = \frac{V \times W \times E}{N} \quad (\text{小数3位4捨5入2位止め})$$

A: 運転1時間当たり作業量(m²/時間)
V: 締固め速度(3500m/時間)
W: 1回の締固め幅(表1)
E: 作業効率(表2)
N: 締固め回数(表1)

施工単価構成内訳 1時間(Am²)当り算出

名称	規格	数量	単位	備考
(1) ブルドーザ	表1	1	時間	排対型(1次)
(2) 軽油	ハットロール給油	表1	L	
(3) 運転手(特殊)		表1	人	
(4) 合計				Σ(1)~(3)
(5) 単価		1.0	m ³	(4)÷A
(6) 1時間当り作業量				A

4	名称	石積工(空・練積)			施工単位	m ²	
1. 適用範囲							
玉石又は雑割石を用い、法勾配が1割より急な石積(空・練積)に適用する。							
2. 石積材料区分の選択					表1		
積区分	石積材料区分	標準個数(個)	胴込材(m ³)	胴込コンクリート(m ³)			
空積	玉石(25cm)	350	0.83	—			
	玉石(30cm)	230	1.00	—			
	玉石(35cm)	160	1.17	—			
	雑割石(30cm)	160	1.50	—			
	雑割石(35cm)	120	1.75	—			
	雑割石(45cm)	100	2.25	—			
練積	玉石(25cm)	350	—	0.83			
	玉石(30cm)	230	—	1.00			
	玉石(35cm)	160	—	1.17			
	雑割石(30cm)	160	—	1.50			
	雑割石(35cm)	120	—	1.75			
	雑割石(45cm)	100	—	2.25			
3. 労務区分の選択					表2		
積区分	石積材料区分	世話役	石工	普通作業員	積込手間 普通作業員	特殊作業員	胴込手間 普通作業員
空積	玉石(25cm)	0.2	0.63	1.38	—	—	—
	玉石(30cm)	0.2	0.63	1.41	—	—	—
	玉石(35cm)	0.2	0.63	1.44	—	—	—
	雑割石(30cm)	0.2	1.32	2.48	—	—	—
	雑割石(35cm)	0.2	1.32	2.52	—	—	—
	雑割石(45cm)	0.2	1.32	2.62	—	—	—
練積	玉石(25cm)	0.2	0.63	—	1.22	0.15	0.30
	玉石(30cm)	0.2	0.63	—	1.22	0.18	0.36
	玉石(35cm)	0.2	0.63	—	1.22	0.21	0.42
	雑割石(30cm)	0.2	1.32	—	2.19	0.27	0.54
	雑割石(35cm)	0.2	1.32	—	2.19	0.32	0.63
	雑割石(45cm)	0.2	1.32	—	2.19	0.41	0.81
・ 積石の積み手間、胴込材の仕立手間、抜型枠(練積のみ)の設置取り外し及び積み立てに伴う材料の移動手間を含む。							
4. 裏込コンクリートによる選択					表3		
コンクリート厚	特殊作業員(打設手間)		普通作業員(打設手間)		コンクリート数量		
0	—		—		—		
10	0.18		0.36		1.0		
15	0.27		0.54		1.5		
20	0.36		0.72		2.0		

4	名称	石積工(空・練積)			施工単位	m ²
5. 水抜管数量					表4	
石積材料区分 (控長)		裏込コンクリート厚				
		0	10	15	20	
玉石(25cm)		0.25	0.33	0.38	0.42	
玉石(30cm)		0.29	0.38	0.42	0.46	
玉石(35cm)		0.33	0.42	0.46	0.50	
雑割石(30cm)		0.29	0.38	0.42	0.46	
雑割石(35cm)		0.33	0.42	0.46	0.50	
雑割石(45cm)		0.42	0.50	0.54	0.58	
施工単価構成内訳					10m ² 当り算出	
名称		規格	数量	単位	備考	
(1)	積石材		表1	個		
(2)	胴込栗石	栗石(5～15cm)	表1*(1+0.14)	m ³	空積	
(2)	胴込生コンクリート	18-40-8	表1*(1+0.19)	m ³	練積	
(3)	裏込コンクリート	18-40-8	表3*(1+0.19)	m ³	練積	
(4)	硬質塩化ビニール管	VUφ40	表4	本	練積(水抜きパイプ)	
(5)	世話役		表2	人		
(6)	石工		表2	人		
(7)	普通作業員		表2	人	空積	
(8)	普通作業員	積手間	表2	人	練積	
(9)	特殊作業員	胴込手間	表2	人	練積	
(10)	普通作業員	胴込手間	表2	人	練積	
(11)	雑品	20%	0.2		練積(9)+(10)	
(12)	特殊作業員	裏込コン手間	表3	人	練積	
(13)	普通作業員	裏込コン手間	表3	人	練積	
(14)	雑品(裏込コンクリート)	1%	0.01		練積(12)+(13)	
(15)	合計				Σ(1)～(14)	
(16)	単価		1.0	m ²	(15)／10	
(17)	1日当り作業量			m ²	QD	
・雑品(練積のみ)とは、パイプレーター、手車、抜き型枠の経費及びその他材料の費用である。						
1日当り作業量						
空積の時 QD=10m ² ／石工歩掛(人)×ΣH/8 (m ² ／日)						
練積の時 QD=10m ² ／(石工歩掛(人)+特殊作業員歩掛(人))×ΣH/8 (m ² ／日)						
ΣH=P+GR1						
P:基本給対象時間内の作業時間						
GR1:超勤割増対象作業時間						

5	名称	裏込工(ブロック積、ブロック張)		施工単位	m ³
1. 適用範囲 ブロック積み・ブロック張りに裏込工を施工する場合に適用する。					
2. 裏込材料区分 表1					
材料区分	裏込材区分	裏込材数量	充填材数量		
新材	栗石	11.4	2.3		
	クラッシャーラン	11.1	—		
再生材	栗石	11.4	2.3		
	クラッシャーラン	11.1	—		
・再生材の栗石とは、間隙充填材(再生クラッシャーラン)のみが再生材である。					
3. 施工区分の選択 表2					
施工区分	世話役	普通作業員	雑品		
ブロック積	0.5	1.4	7.0		
ブロック張	0.4	0.8	8.0		
4. 潮待区分の選択 表3					
潮待区分					
1.00					
1.10					
1.20					
1.30					
施工単価構成内訳 10m³当り算出					
名称		規格	数量	単位	備考
(1)	土木一般世話役		表2×表3	人	
(2)	普通作業員		表2×表3	人	
(3)	雑品		表2/100		Σ(1)～(2)
(4)	裏込材		表1	m ³	
(5)	間隙充填材	裏込材が栗石の時	表1	m ³	
(6)	合計				Σ(1)～(5)
(7)	単価		1.0	m ³	(6)／10
(8)	1日当たり作業量		QD	m ³	QD
・雑品とは、つき固め機械の損料及び油脂類等の費用であり、労務費の合計額に乗じた金額とする。					
1日当たり作業量					
QD＝10m ³ ／普通作業員歩掛(人)×ΣH/8 (m ³ ／日・人)					
ΣH＝P＋GR1					
P: 基本給対象作業時間内の作業時間					
GR1: 超勤割増対象作業時間					

6	名称	裏込工(石積・石張)		施工単位	m ³
1. 適用範囲					
石積み・石張りに裏込工を施工する場合に適用する。					
2. 裏込材料区分 表1					
材料区分	裏込材区分	裏込材数量	充填材数量		
新材	栗石	11.4	2.3		
	クラッシャーラン	12.0	—		
	生コンクリート	11.9	—		
再生材	栗石	11.4	2.3		
	クラッシャーラン	12.0	—		
・再生材の栗石とは、間隙充填材(再生クラッシャーラン)のみが再生材である。					
3. 施工区分の選択(普通作業員)(10m ³ 当たり) 表2					
施工区分	裏込材区分				
	栗石	クラッシャーラン	生コンクリート		
石積み	1.9	1.9	3.6		
石張り	1.0	1.0	—		
4. 雑品 表3					
施工区分		数量			
石積み		3.0			
石張り		4.0			
5. 潮待区分の選択 表4					
潮待区分					
1.00					
1.10					
1.20					
1.30					
施工単価構成内訳 10m³当り算出					
名称		規格	数量	単位	備考
(1)	裏込材		表1	m ³	
(2)	間隙充填材		表1	m ³	裏込材が栗石の時
(3)	特殊作業員		1.8 * 表4	人	石積みで裏込材が生コンの時
(4)	普通作業員		表2 * 表4	人	
(5)	雑品①	裏込材が生コン以外の時	表3 / 100		Σ (3) ~ (4)
(6)	雑品②	裏込材が生コンの時	0.01		Σ (3) ~ (4)
(7)	合計				Σ (1) ~ (6)
(8)	単価		1.0	m ³	(7) / 10
(9)	1日当たり作業量		QD	m ³	QD
・ 雑品①とは、投入、突固め機械の損料及び油脂類等の費用であり、労務費の合計額に乗じた金額とする。					
・ 雑品②とは、生コンクリートの雑材料費のみである。					
・ 裏込材の生コンクリートは、石積の場合を対象とする。					
1日当たり作業量					
QD = 10m ³ / 普通作業員歩掛(人) × Σ H / 8 (m ³ / 日・人)					
Σ H = P + GR1					
P: 基本給対象作業時間内の作業時間					
GR1: 超勤割増対象作業時間					

8

名称

芝工(耳芝)

施工単位

m

1. 適用範囲

人工芝を使用して盛土法面等に耳芝のみを植付ける場合に適用する。

施工単価構成内訳

10m当たり算出

	名称	規格	数量	単位	備考
(1)	人工芝(耳芝)	7cm	10.2	m	
(2)	普通作業員		0.03	人	
(3)	合計				Σ(1)～(2)
(4)	単価		1.0	m	(3)／10
(5)	1日当り作業量			m	QD

1日当たり作業量

QD＝1／普通作業員歩掛(人)×10×ΣH/8 (m/日)

ΣH=P+GR1

P: 基本給対象作業時間内の作業時間

GR1: 超勤割増対象作業時間

9	名称	[U形溝据付工(2種、4種)]	施工単位	m
1. 適用範囲 市場単価方式による、製品の長さが1.0m又は2.0mの鉄筋コンクリートU形水路(2種、4種)の据付(基礎碎石+敷モルタルまたは敷砂+据付)または撤去に適用する。 施工単価構成内訳 建設物価土木コスト情報による。				

10	名称	管(函)渠型側溝[L=2000ーφ600まで]				施工単位	m
1. 適用範囲							
管(函)渠型側溝(製品延長2000mm、内径又は内空幅200mm以上～600mm以下)の据付作業に適用する。							
2. 労務数量(人)、雑品率(%）、雑工種率(%）及び運転時間(時間)の選定							表1
据付歩掛の選択	基礎碎石区分	世話役(人)	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	BH運転時間(時間)	基礎碎石率(%)	諸雑费率(%)
200mm以上 400mm以下	基礎碎石あり	0.3	0.2	0.6	1.7	19	14
	基礎碎石なし	0.3	0.2	0.6	1.7	－	14
400mmを超え 600mm以下	基礎碎石あり	0.6	0.4	1.2	2	13	12
	基礎碎石なし	0.6	0.4	1.2	2	－	12
・歩掛りは、移動距離30m程度までの現場内小運搬を含む。							
施工単価構成内訳					10m当り算出		
名称		規格		数量	単位	備考	
(1)	管(函)渠型側溝	L=2000mm		5	本		
(2)	世話役			表1	人		
(3)	特殊作業員			表1	人		
(4)	普通作業員			表1	人		
(5)	バックホウ	クレーン機能付き 山積0.45m3 吊能力2.9t		表1	時間	排対型(1次)	
(6)	運転手(特殊)			0.16*表1	人		
(7)	軽油	ハトロール給油		11*表1	L		
(8)	雑品(基礎碎石)			表1/100		基礎ありの場合	
(9)	諸雑費			表1/100			
(10)	合計					Σ(1)～(9)	
(11)	単価			1	m	(9)/10.0	
(12)	1日当たり作業量			QD	m	QD	
・ 雑品(基礎碎石)及び諸雑費とは、下記の費用であり、労務及び機械経費の合計額に乗じた金額とする。							
[基礎碎石費]							
敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、碎石等材料費							
[諸雑費]							
コンクリートカット運転経費、目地モルタル、敷きモルタル、管(函)渠型側溝損失分の経費、カットブレードの損耗費							
1日当たり作業量							
T:バックホウ(クレーン機能付)の1日当たり運転時間(6.3hr)							
QD=10m／表1(バックホウ運転時間(hr))×T							

11	名称	捨石投入		施工単位	m ³
1. 適用範囲					
捨石を直接水中投入する場合に適用する。					
施工単価構成内訳				Qm3当たり算出	
名称		規格	数量	単位	備考
(1)	捨石		Q*割増率	m3	
(2)	潜水土船軽油	(免税)	132	L	
(3)	潜水土世話役		0.24	人	
(4)	潜水土		1.2	人	
(5)	潜水連絡員		1.2	人	
(6)	潜水送気員		1.2	人	
(7)	潜水土船(運転)	D180PS	1	日	
(8)	潜水土船(供用)	D180PS	1.65	供用日	
(9)	雑材料		0.5/100		Σ (1)～(8)
(10)	合 計				Σ (1)～(9)
(11)	単 価		1.0	m ³	(10)／Q

(1) 能力算定式

Q=q×(1.00+E1+E2) (小数1位四捨五入)

Q : 潜水土船1日当り投入指示量(扱い数量、m3／日)

q : 潜水土船1日当り標準投入指示量(850m3／日)

E1: 水深区分能力補正係数

E2: 施工規模区分能力補正係数

(2) 能力係数等

係 数 区 分		補正係数	摘 要	
E1	水深区分	10m未満	-0.25	平均干潮面(M.L. W.L.)からの現地盤の水深をいう。
		10～20m未満	0.00	
		20m以上	0.20	
E2	施工規模区分	1,000m3未満	-0.05	施工規模区分には材料割増しを含む。また、捨石の規格別、種類別の投入量とする。
		1,000～ 5,000m3 未満	0.00	
		5,000～10,000m3 未満	0.20	
		10,000m3以上	0.35	

12	名称	捨石均し(陸上部)			施工単位	m ²
1. 適用範囲						
陸上部の捨石均し(陸上施工・海上施工)に適用する。						
施工単価構成内訳				100.000m ² 当たり算出		
	名 称	規 格	数 量	単位	備 考	
(1)	石工		N*0.1	人		
(2)	普通作業員		N*0.9	人		
(3)	運転手(特殊)		N2*1.0	人	陸上施工の時	
(4)	バックホウ(運転)	0.8m3級	N2*6.1	時間	陸上施工の時 排対型(1次)	
(5)	バックホウ(供用)	0.8m3級	N2*1.58	供用日	陸上施工の時 排対型(1次)	
(6)	軽油		N2*110	L	陸上施工の時	
(7)	船団長		N2*1.0*1.2	人	海上施工の時	
(8)	普通船員		N2*5.0*1.2	人	海上施工の時	
(9)	クレーン付台船(運転)	35t～40t 吊	N2*1.0	日	海上施工の時	
(10)	クレーン付台船(供用)	35t～40t 吊	N2*1.65	供用日	海上施工の時	
(11)	クレーン付台船軽油	(免税)	N2*124	L	海上施工の時	
(12)	高級船員		N2*1.0*1.2	人	海上:引船有の時	
(13)	普通船員		N2*1.0*1.2	人	海上:引船有の時	
(14)	引船(運転)	D300PS	N2*2.0	時間	海上:引船有の時	
(15)	引船(供用)	D300PS	N2*1.65	供用日	海上:引船有の時	
(16)	引船重油A	(免税)	N2*97	L	海上:引船有の時	
(17)	雑材料		0.5/100		Σ(1)～(16)	
(18)	合 計				Σ(1)～(17)	
(19)	単 価		1.0	m ²	(18)／100	

(1) 能力算定式

$$N = n_i \times (1.00 + E1 + E2) \times E3$$
 (小数2位四捨五入)

N : 100m2当り労務人数(人)

n_i : 100m2当り標準労務人数(人)

E1: 割石質量区分能力補正係数

E2: 施工規模区分能力補正係数

E3: 潮待ち区分能力係数

(2) 100m2当り標準労務人数

均し区分、精度	本均し	荒均し		適 用
	±5cm	±30cm	±50cm	
n _i (人)	36.5	17.5	15.0	

12	名称	捨石均し(陸上部)	施工単位	m ²
----	----	-----------	------	----------------

(3) 能力係数等

係 数 区 分			補正係数	摘 要
E1	割石質量 区分	200kg／個未満	0.00	質量区分は、使用石材の平均質量による区分である。
		200kg／個以上	0.10	
E2	施工規模 区分	1,000m ² 未満	0.00	均し面積は、均し精度に係わらず、本均し、荒均し別の陸上面積を対象とする。
		1,000m ² 以上	-0.10	
E3	潮待ち 区分	潮待ち部以外	1.00	
		潮待ち部	1.10	

(4)船舶数量(N2)

$N2 = N \times \text{機械所要日数(表1)}$

(5) 労務構成等

能力算定式で求まる労務人数に対し、下表の比率で労務費およびクレーン類(機械所要日数)を計上する(小数2位四捨五入)。

表1

区分	平均捨石質量	機械所要日数
捨石均し	200kg／個以上	0.20
	200kg／個未満	0.08

なお、クレーン付台船を使用する場合の引船の所要日数は、クレーン付台船と同じとする。

13

名称

捨石均し(水中部)

施工単位

m²

1. 適用範囲

水中部の捨石均しで、潜水土船のウインチによる均し作業に適用する。

施工単価構成内訳

Am²当たり

名 称		規 格	数 量	単位	備 考
(1)	潜水土		1*1.2	人	水深区分15m未満(単独潜水方式)の場合
(1)	潜水土		2.1*1.2	人	水深区分15m～30m未満(2人潜水方式(交互))の場合
(2)	潜水世話役		0.2*1.2	人	
(3)	潜水連絡員		1.0*1.2	人	
(4)	潜水送気員		1.0*1.2	人	
(5)	潜水土船(運転)	D180PS	1.0	日	
(6)	潜水土船(供用)	D180PS	1.65	供用日	
(7)	潜水土船軽油	(免税)	132	L	
(8)	雑材料		0.5/100		Σ(1)～(7)
(9)	合 計				Σ(1)～(8)
(10)	単 価		1.0	m ²	(9)／A
(11)	1日当たり作業量			m ²	A

(1) 能力算定式

A＝ai × (1.00＋E1＋E2＋E3) × E4 × E5 × T （小数2位四捨五入）

A：潜水土船1日当り均し面積(m2／日)

ai：潜水土船1時間当り標準均し能力(m2／h)

E1：割石質量区分能力補正係数

E2：透明度区分能力補正係数

E3：施工規模区分能力補正係数

E4：潮待ち区分能力補正係数

E5：水深区分能力補正係数

T：潜水土船1日当り運転時間(6.0h／日)

(2) 潜水土船1時間当り標準均し能力

均し区分、精度	本均し		荒均し			適 用
	±5cm	荒均し済(±50cm)	±10cm	±30cm	±50cm	
ai(m2／h)	2.2	2.7	3.1	4.5	5.9	

注)許容範囲＋0、－20cmの場合の荒均しの能力は、荒均し±10cmの能力を適用する。

13	名称	捨石均し(水中部)	施工単位	m ²
----	----	-----------	------	----------------

(3) 能力係数等

係 数 区 分			補正係数	摘 要
E1	割石質量 区分	200kg／個未満	0.00	質量区分は、使用石材の平均質量による区分である。
		200～1000kg／個未満	-0.05	
		1000kg／個以上	-0.10	
E2	透明度 区分	普通	0.00	透明度が概ね1m未満を悪いとする。
		悪い	-0.10	
E3	施工規模 区分	800m ² 未満	-0.05	均し面積は、均し精度に係わらず均し区分毎の合計面積(水中・陸上合算)を対象とする。
		800m ² 以上	0.00	
E4	潮待ち 区分	潮待ち部以外	1.00	
		潮待ち部	0.70	
E5	水深区分	10m未満	0.87	平均干潮面(M.L.W.L.)からの水深とする。
		10～15m未満	0.74	
		15～20m未満	0.88	
		20～25m未満	0.77	
		25～30m未満	0.68	

係数区分の補足表

係 数 区 分			係数区分の摘用明細
E5	水深 区分	15m未満	単独潜水方式
		15～30m未満	二人潜水方式(交互)

14	名称	被覆石投入		施工単位	m ³
1. 適用範囲					
被覆石を直接水中投入する場合に適用する。					
施工単価構成内訳				Qm3当たり	
	名 称	規 格	数 量	単位	備 考
(1)	被覆石		Q*割増率	m3	
(2)	潜水土船軽油	(免税)	132	L	
(3)	潜水世話役		0.24	人	
(4)	潜水土		1.2	人	
(5)	潜水連絡員		1.2	人	
(6)	潜水送気員		1.2	人	
(7)	潜水土船(運転)	D180PS	1.0	日	
(8)	潜水土船(供用)	D180PS	1.65	供用日	
(9)	雑材料		0.5/100		Σ (1)～(8)
(10)	合 計				Σ (1)～(9)
(11)	単 価		1.0	m3	(10)／Q
(12)	1日当たり作業量			m3	Q

(1) 能力算定式

Q=q×(1.00+E1+E2) (小数1位四捨五入)

Q：潜水土船1日当り投入指示量(扱い数量、m3／日)

q：潜水土船1日当り標準投入指示量(800m3／日)

E1：水深区分能力補正係数

E2：施工規模区分能力補正係数

なお、搬入経路や施工現場の水深が浅かったり、平面形状により瀬取り投入が必要な場合で、上式によることが不適当と認められる場合は、施工条件を勘案し潜水土船1日当り投入指示量を補正しなければならない。

(2) 能力係数等

係 数 区 分		補正係数	摘 要
E1	水深区分	10m未満	平均干潮面(M.L.W.L.)からの現地盤の水深をいう。
		15～20m未満	
		20m以上	
E2	施工規模区分	1,000m3未満	施工規模区分には材料割増しを含む。また、被覆石の規格別、種類別の投入量とする。
		1,000～ 5,000m3 "	
		5,000～10,000m3 "	
		10,000m3以上	

15	名称	被覆石均し(陸上部)			施工単位	m ²
1. 適用範囲						
陸上部の被覆石均し(陸上施工・海上施工)に適用する。						
施工単価構成内訳				100.000m ² 当たり算出		
	名 称	規 格	数 量	単位	備 考	
(1)	石工		N*0.1	人		
(2)	普通作業員		N*0.9	人		
(3)	運転手(特殊)		N2*1.0	人	陸上施工の時	
(4)	バックホウ(運転)	0.8m3級	N2*6.1	時間	陸上施工の時 排対型(1次)	
(5)	バックホウ(供用)	0.8m3級	N2*1.58	供用日	陸上施工の時 排対型(1次)	
(6)	軽油		N2*110	L	陸上施工の時	
(7)	船団長		N2*1.0*1.2	人	海上施工の時	
(8)	普通船員		N2*5.0*1.2	人	海上施工の時	
(9)	クレーン付台船(運転)	35t～40t 吊	N2*1.0	日	海上施工の時	
(10)	クレーン付台船(供用)	35t～40t 吊	N2*1.65	供用日	海上施工の時	
(11)	クレーン付台船軽油	(免税)	N2*124	L	海上施工の時	
(12)	高級船員		N2*1.0*1.2	人	海上:引船有の時	
(13)	普通船員		N2*1.0*1.2	人	海上:引船有の時	
(14)	引船(運転)	D300PS	N2*2.0	時間	海上:引船有の時	
(15)	引船(供用)	D300PS	N2*1.65	供用日	海上:引船有の時	
(16)	引船重油A	(免税)	N2*97	L	海上:引船有の時	
(17)	雑材料		0.5/100		Σ(1)～(16)	
(18)	合 計				Σ(1)～(17)	
(19)	単 価		1.0	m ²	(18)／100	

(1) 能力算定式

N=ni × (1.00 + E1 + E2) × E3 (小数2位四捨五入)

N : 100m2当り労務人数(人)

ni : 100m2当り標準労務人数(人)

E1: 割石質量区分能力補正係数

E2: 施工規模区分能力補正係数

E3: 潮待ち区分能力係数

N2=N × 機械所要日数

N2: 機械船舶運転日数

(2) 100m2当り標準労務人数

均し区分、精度	被覆均し		適 用
	±30cm	±50cm	
ni(人)	17.5	15.0	

15	名称	被覆石均し(陸上部)	施工単位	m ²
----	----	------------	------	----------------

(3) 能力係数等

係 数 区 分			補正係数	摘 要
E1	割石質量 区分	200kg／個未満	0.00	質量区分は、使用石材の平均質量による区分である。
		200kg／個以上	0.10	
E2	施工規模 区分	1,000m ² 未満	0.00	均し面積は、均し精度に係わらず、被覆均しの陸上部面積を対象とする。
		1,000m ² 以上	-0.10	
E3	潮待ち 区分	潮待ち部以外	1.00	
		潮待ち部	1.10	

(4) 労務構成等

能力算定式で求まる労務人数に対し、下表の比率で労務費およびクレーン類（機械所要日数）を計上する（小数2位四捨五入）。

区分	平均捨石質量	石 工	普通作業員	機械所要日数
被覆均し	200kg／個以上	0.10	0.90	0.20
	200kg／個未満	0.10	0.90	0.08

なお、クレーン付台船を使用する場合の引船の所要日数は、クレーン付台船と同じとする。

16

名称

被覆石均し(水中部)

施工単位

m²

1. 適用範囲

水中部の被覆石均しで、潜水土船のウインチによる均し作業に適用する。

施工単価構成内訳

Am²当たり

名 称		規 格	数 量	単位	備 考
(1)	潜水土		1*1.2	人	水深区分15m未満(単独潜水方式)の場合
(1)	潜水土		2.1*1.2	人	水深区分15m～30m未満(2人潜水方式(交互))の場合
(2)	潜水世話役		0.2*1.2	人	
(3)	潜水連絡員		1.0*1.2	人	
(4)	潜水送気員		1.0*1.2	人	
(5)	潜水土船(運転)	D180PS	1.0	日	
(6)	潜水土船(供用)	D180PS	1.65	供用日	
(7)	潜水土船軽油	(免税)	132	L	
(8)	雑材料		0.5/100		Σ(1)～(7)
(9)	合 計				Σ(1)～(8)
(10)	単 価		1.0	m ²	(9)／A
(11)	1日当たり作業量			m ²	A

(1) 能力算定式

A=ai×(1.00+E1+E2+E3)×E4×E5×T (小数2位四捨五入)

A : 潜水土船1日当り均し面積(m2／日)

ai : 潜水土船1時間当り標準均し能力(m2／h)

E1 : 割石質量区分能力補正係数

E2 : 透明度区分能力補正係数

E3 : 施工規模区分能力補正係数

E4 : 潮待ち区分能力補正係数

E5 : 水深区分能力補正係数

T : 潜水土船1日当り運転時間(6.0h／日)

(2) 潜水土船1時間当り標準均し能力

均し区分、精度	被覆均し			適 用
	±10cm	±30cm	±50cm	
ai(m2／h)	2.6	3.9	5.0	

注)許容範囲+0、-20cmの場合の荒均しの能力は、荒均し±10cmの能力を適用する。

16	名称	被覆石均し(水中部)	施工単位	m ²
----	----	------------	------	----------------

(3) 能力係数等

係 数 区 分			補正係数	摘 要
E1	割石質量 区分	200kg／個未満	0.00	質量区分は、使用石材の平均質量による 区分である。
		200～1000kg／個未満	-0.05	
		1000kg／個以上	-0.10	
E2	透明度 区分	普通	0.00	透明度が概ね1m未満を悪いとする。
		悪い	-0.10	
E3	施工規模 区分	800m ² 未満	-0.05	均し面積は、均し精度に係わらず均し区分毎の 合計面積(水中・陸上合算)を対象とする。
		800m ² 以上	0.00	
E4	潮待ち 区分	潮待ち部以外	1.00	
		潮待ち部	0.70	
E5	水深区分	10m未満	0.87	平均干潮面(M.L.W.L.)からの水深とす る。
		10～15m未満	0.74	
		15～20m未満	0.88	
		20～25m未満	0.77	
		25～30m未満	0.68	

係数区分の補足表

係 数 区 分			係数区分の摘用明細
E5	水深 区分	15m未満	単独潜水方式
		15～30m未満	二人潜水方式(交互)

17	名称	碇着鉄筋	施工単位	本	
1. 適用範囲 海岸工事における既設構造物の嵩上げ、腹付け等における碇着部の鉄筋植付に適用する。					
2. 定着鉄筋径の選択		表1			
定着鉄筋径	異径棒鋼数量(t)				
D19	0.139				
D16	0.096				
D13	0.061				
3. 潮待区分の選択		表2			
1.00					
1.10					
1.20					
1.30					
潮待補正がない場合 1.00					
潮待補正がある場合					
施工基面が					
H.W.L～M.S.Lの時 1.10					
M.S.L～M.L.W.Lの時 1.20					
M.L.W.L以下の時 1.30					
施工単価構成内訳		100.000本当たり算出			
名	称	規 格	数 量	単 位	備 考
(1)	世話役	15kg 3.5～3.7m3/min	0.3*表2	人	排対型(1次)
(2)	特殊作業員		3.1*表2	人	
(3)	普通作業員		0.8*表2	人	
(4)	ハンドハンマ		2.1	日	
(5)	コンプレッサ		2.1*1.7	日	
(6)	コンプレッサ軽油		2.1*25	L	
(7)	諸雑費		4.0/100		Σ(1)～(6)
(8)	異径棒鋼		表1	ton	モルタル(1:2)
(9)	鉄筋(加工・組立)		K*表1	ton	
(10)	セメント(高炉B)		0.03*0.58	ton	
(11)	砂(細骨材用)細目		0.03*0.68	m3	
(12)	普通作業員		0.03*0.76	人	
(13)	合計				
(14)	単価		1.0	本	(13)/100
K:鉄筋(加工・組立)数量補正值Kについては[鉄筋工](土地改良工事積算基準(土木工事))による					
※コンプレッサは賃料とする。					

18	名称	方塊ブロック製作	施工単位	個																																																																																										
1. 適用範囲 方塊ブロックの製作に適用する。																																																																																														
2. 吊り鉄筋径の選択																																																																																														
吊鉄筋径の選択 表1																																																																																														
<table><tr><td>吊鉄筋径</td></tr><tr><td>9mm</td></tr><tr><td>13mm</td></tr><tr><td>16mm</td></tr><tr><td>19mm</td></tr><tr><td>22mm</td></tr><tr><td>25mm</td></tr><tr><td>29mm</td></tr><tr><td>32mm</td></tr></table>					吊鉄筋径	9mm	13mm	16mm	19mm	22mm	25mm	29mm	32mm																																																																																	
吊鉄筋径																																																																																														
9mm																																																																																														
13mm																																																																																														
16mm																																																																																														
19mm																																																																																														
22mm																																																																																														
25mm																																																																																														
29mm																																																																																														
32mm																																																																																														
施工単価構成内訳			1個当たり算出																																																																																											
<table><tr><td>名</td><td>称</td><td>規</td><td>格</td><td>数</td><td>量</td><td>単</td><td>位</td><td>備</td><td>考</td></tr><tr><td>(1)</td><td>コンクリート</td><td></td><td></td><td>1個</td><td>当り数量*1.01</td><td>m3</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>コンクリート打設手間</td><td></td><td></td><td>1個</td><td>当たり数量</td><td>m3</td><td></td><td>市場単価方式による</td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>側面型枠</td><td></td><td></td><td>1個</td><td>当たり数量</td><td>m²</td><td></td><td>市場単価方式による</td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>底型枠</td><td></td><td></td><td>1個</td><td>当たり数量</td><td>m²</td><td></td><td>市場単価方式による</td><td></td></tr><tr><td>(5)</td><td>普通丸鋼(吊鉄筋)</td><td>表1</td><td></td><td>1個</td><td>当たり数量*1.03</td><td>ton</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(6)</td><td>吊鉄筋加工組立</td><td></td><td></td><td>1個</td><td>当たり数量</td><td>ton</td><td></td><td>市場単価方式による</td><td></td></tr><tr><td>(7)</td><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Σ(1)～(6)</td><td></td></tr><tr><td>(8)</td><td>単価</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>個</td><td></td><td>(7)/1.00</td><td></td></tr></table>					名	称	規	格	数	量	単	位	備	考	(1)	コンクリート			1個	当り数量*1.01	m3				(2)	コンクリート打設手間			1個	当たり数量	m3		市場単価方式による		(3)	側面型枠			1個	当たり数量	m ²		市場単価方式による		(4)	底型枠			1個	当たり数量	m ²		市場単価方式による		(5)	普通丸鋼(吊鉄筋)	表1		1個	当たり数量*1.03	ton				(6)	吊鉄筋加工組立			1個	当たり数量	ton		市場単価方式による		(7)	合計							Σ(1)～(6)		(8)	単価				1.0	個		(7)/1.00	
名	称	規	格	数	量	単	位	備	考																																																																																					
(1)	コンクリート			1個	当り数量*1.01	m3																																																																																								
(2)	コンクリート打設手間			1個	当たり数量	m3		市場単価方式による																																																																																						
(3)	側面型枠			1個	当たり数量	m ²		市場単価方式による																																																																																						
(4)	底型枠			1個	当たり数量	m ²		市場単価方式による																																																																																						
(5)	普通丸鋼(吊鉄筋)	表1		1個	当たり数量*1.03	ton																																																																																								
(6)	吊鉄筋加工組立			1個	当たり数量	ton		市場単価方式による																																																																																						
(7)	合計							Σ(1)～(6)																																																																																						
(8)	単価				1.0	個		(7)/1.00																																																																																						

19	名称	ブロック据付・仮置(海上一連方式)		施工単位	個
1. 適用範囲					
ブロックを海上一連方式により据付又は仮置きする場合に適用する。但し、本体ブロックのセルラー・L型の20t以上及び蓋ブロックには適用できない。					
2. 据付区分の選択					
表1					
平均捨石質量		潜水土船	とび工	普通作業員	
水上据付		0.00	2.00	4.00	
水上据付Ⅰ		0.80	1.00	3.00	
水上据付Ⅱ		0.80	1.00	3.00	
水上据付……玉掛け・玉外しのどちらも水上(陸上)					
水上据付Ⅰ……玉掛け・玉外しのどちらかが水上					
水上据付Ⅱ……玉掛け・玉外しのどちらも水中					
3. 作業船(クレーン付台船)の各種数量					
表2					
作業船区分		作業船運転時間	軽油(免税)		
クレーン付台船50t吊 引船450ps		2H	45.00		
		4H	89.00		
		6H	134.00		
クレーン付台船80t吊 引船500ps		2H	71.00		
		4H	141.00		
		6H	212.00		
クレーン付台船100t吊 引船550ps		2H	85.00		
		4H	169.00		
		6H	254.00		
4. 作業船(起重機船 非航旋回)の各種数量					
表3					
作業船区分		作業船運転時間	重油A(免税)	損料(運転)	
起重機船非航旋回100t吊 引船600ps		2H	151.00	2	
		4H	303.00	4	
		6H	454.00	6	
起重機船非航旋回120t吊 引船700ps		2H	171.00	2	
		4H	342.00	4	
		6H	512.00	6	
起重機船非航旋回150t吊 引船700ps		2H	196.00	2	
		4H	392.00	4	
		6H	588.00	6	

19	名称	ブロック据付・仮置(海上一連方式)	施工単位	個
5. 引船の各種数量			表4	
	作業船区分	作業船運転時間	重油A(免税)	損料(運転)
クレーン付台船50t吊 引船450ps		2H	146.00	2
		4H	291.00	4
		6H	437.00	6
クレーン付台船80t吊 引船500ps		2H	162.00	2
		4H	324.00	4
		6H	486.00	6
クレーン付台船100t吊 引船550ps		2H	178.00	2
		4H	356.00	4
		6H	535.00	6
起重機船非航旋回100t吊 引船600ps		2H	194.00	2
		4H	388.00	4
		6H	582.00	6
起重機船非航旋回120t吊 引船700ps		2H	227.00	2
		4H	453.00	4
		6H	680.00	6
起重機船非航旋回150t吊 引船700ps		2H	227.00	2
		4H	453.00	4
		6H	680.00	6

19	名称	ブロック据付・仮置(海上一連方式)	施工単位	個
----	----	-------------------	------	---

施工単価構成内訳

Nx個当たり

名 称	規 格	数 量	単位	備 考
(1) クレーン付台船軽油	(免税)	表2	L	クレーン付台船の時
(2) 船団長		1.2	人	クレーン付台船の時
(3) 普通船員		6.0	人	クレーン付台船の時
(4) クレーン付台船(運転)		1.0	日	クレーン付台船の時
(5) クレーン付台船(供用)		1.65	日	クレーン付台船の時
(6) 起重機船重油	(免税)	表3	L	起重機船の時
(7) 船団長		1.2	人	起重機船の時
(8) 高級船員		1.2	人	起重機船の時
(9) 普通船員		6.0	人	起重機船の時
(10) 起重機船(運転)		表3	時間	起重機船の時
(11) 起重機船(供用)		1.65	日	起重機船の時
(12) 引船重油A	(免税)	表4	L	
(13) 高級船員		2.4	人	
(14) 普通船員		1.2	人	
(15) 引船(運転)		表4	時間	
(16) 引船(供用)		1.65	日	
(17) 潜水土船軽油	(免税)	表1*132	L	水中据付Ⅰ、Ⅱの時
(18) 潜水世話役		表1*0.24	人	水中据付Ⅰ、Ⅱの時
(19) 潜水土		表1*1.2	人	水中据付Ⅰ、Ⅱの時
(20) 潜水連絡員		表1*1.2	人	水中据付Ⅰ、Ⅱの時
(21) 潜水送気員		表1*1.2	人	水中据付Ⅰ、Ⅱの時
(22) 潜水土船(運転)	D180PS	表1*1.0	日	水中据付Ⅰ、Ⅱの時
(23) 潜水土船(供用)	D180PS	表1*1.65	日	水中据付Ⅰ、Ⅱの時
(24) とび工		表1	人	
(25) 普通作業員		表1	人	
(26) 雑材料		0.5/100		Σ(1)～(25)
(27) 合 計				Σ(1)～(26)
(28) 単 価		1.0	個	(27) / Nx

(1) 据付・仮置能力算定式

$$Nx = N \times n \quad (\text{小数1位四捨五入})$$

Nx: 1日当り施工量(個/日)

N : 起重機船等の最大積込個数(個)

n : 1日当り航海数(回/日)

(2) 起重機船等の最大積込個数

起重機船等への最大積込個数は、下記の算定式による。

$$\{(\text{最大積載質量}) \div (\text{ブロック質量})\} \times \text{積載係数}(0.8) \quad (\text{小数1位切捨て})$$

19	名称	ブロック据付・仮置(海上一連方式)	施工単位	個
----	----	-------------------	------	---

(3) n : 1日当りの航海数 (回/日)

$$n = Ts / ((N \times (Cm1 + Cm2) / 60) + (2 \times d / v) + t) \quad (\text{小数3位四捨五入})$$

Ts : 作業船の1日当り施工時間(6h/日)

N : 起重機船等の最大積込個数(個)

$Cm1$: 1個当り海上積込時間(分/個)

$$Cm1 = bi \times E1 \times E2 \times E3 \times E4 \quad (\text{小数2位四捨五入})$$

bi : 標準作業時間(10分)

$E1$: 作業種類能力係数(※)

$E2$: ブロック種類能力係数(※)

$E3$: 施工区分能力係数(※)

$E4$: ブロック質量能力係数(※)

$Cm2$: 1個当り据付・仮置時間(分/個)

$$Cm2 = bi \times E1 \times E2 \times E3 \times E4 \quad (\text{小数2位四捨五入})$$

d : 往復平均えい航距離(km)

v : 往復平均えい航速度(5.5km/h) ※但し、起重機船(自航旋回)の場合は別途

t : 離接舷等の関連時間(0.58h)

(4)能力補正係数

(表5)

係 数 区 分		本体ブロック	被覆ブロック	根固ブロック	消波ブロック
E1	積込	0.90	0.90	0.90	0.90
	仮置き	0.90	0.90	0.90	0.90
	据付(乱積)	—	1.00	—	1.00
	据付	1.20	1.20	1.20	—
E2	L型・セルラブロック	1.20	—	—	—
	本体方塊・直積消波	1.10	—	—	—
	異形ブロック	—	1.00	—	1.00
	根固ブロック	—	—	1.10	—
E3	施工区分 海上	1.00	1.00	1.00	1.00
E4	4.5t以下	0.40	0.40	0.40	0.40
	4.5～7.5t以下	0.55	0.55	0.55	0.55
	7.5～12.5t以下	0.65	0.65	0.65	0.65
	12.5～22.0t以下	0.75	0.75	0.75	0.75
	22.0～31.0t以下	0.85	0.85	0.85	0.85
	31.0～37.5t以下	0.90	0.90	0.90	0.90
	37.5～50.0t以下	1.00	1.00	1.00	1.00

20	名 称	流量計(ウォルトマン型)設置	施 工 単 位	個	
1. 適用範囲 流量計(ウォルトマン型)の人力据付に適用する。					
2. 流量計設置(10個当たり)		表1			
口径区分	世話役	特殊作業員	普通作業員		
3/8(12A)	0.1	0.3	0.2		
1/2(15A)	0.2	0.4	0.3		
3/4(20A)	0.2	0.4	0.3		
1(25A)	0.2	0.5	0.3		
1 1/4(32A)	0.3	0.6	0.4		
1 1/2(40A)	0.3	0.7	0.5		
2(50A)	0.4	0.8	0.5		
取付等に伴う材料の移動手間を含む。					
施工単価構成内訳		10個当たり算出			
名 称		規 格	数 量	単 位	備 考
(1)	流量計		10	基	
(2)	世話役		表1	人	
(3)	特殊作業員		表1	人	
(4)	普通作業員		表1	人	
(5)	合計				Σ (1)～(4)
(6)	単価		1.0	個	Σ (5)/10.0
(7)	1日当たり作業量		1.0	個	QD
1日当たり作業量					
P : 基本給対象時間以内の作業時間					
GR1 : 超勤割増対象作業時間					
Σ H = P + GR1					
QD = 10個 ÷ 表2(特殊作業員(人)) × Σ H／8 (個/日)					

21	名 称	積上げボックスタイプ据付	施工単位	箇所
----	-----	--------------	------	----

1. 適用範囲
 積上げボックスタイプ(空気弁用、流量計用、制水弁用)の据付に適用する。

施工単価構成内訳				1箇所当たり算出
名称	規格	数量	単位	備考
(1) 世話役		0.13×重量	人	
(2) 特殊作業員		0.13×重量	人	
(3) 普通作業員		0.25×重量	人	
(4) 合計				Σ(1)～(3)
(5) 単価		1.0	箇所	Σ(4)

重量とは1組合計重量(t)

23	名 称	路盤工(下層・車道部)			施工単位	m ²																																																																																																																																																																
1. 適用範囲																																																																																																																																																																						
車道部のアスファルト舗装等で、仕上げ厚40cm以下(一層の仕上がり厚さが20cm以下)の一般道路の下層路盤又は、凍上抑制層に適用する。																																																																																																																																																																						
仕上げ層数の選択 表1																																																																																																																																																																						
<table><tr><td>仕上げ層数</td></tr><tr><td>1.00</td></tr><tr><td>2.00</td></tr></table>							仕上げ層数	1.00	2.00																																																																																																																																																													
仕上げ層数																																																																																																																																																																						
1.00																																																																																																																																																																						
2.00																																																																																																																																																																						
施工単価構成内訳																																																																																																																																																																						
1日(1110m ²)当たり算出																																																																																																																																																																						
<table><tr><td>名</td><td>称</td><td>規</td><td>格</td><td>数</td><td>量</td><td>単</td><td>位</td><td>備</td><td>考</td></tr><tr><td>(1)</td><td>路盤材</td><td></td><td></td><td colspan="2">1110*路盤厚/100*1.27</td><td>m³</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>普通作業員</td><td></td><td></td><td colspan="2">0.24*1110/100*表1</td><td>人</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>モータグレーダ</td><td>3.1m級</td><td></td><td colspan="2">1.45*表1</td><td>供用日</td><td></td><td>敷均し作業</td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>軽油</td><td></td><td></td><td colspan="2">54*表1</td><td>L</td><td></td><td>敷均し作業</td><td></td></tr><tr><td>(5)</td><td>特殊運転手</td><td></td><td></td><td colspan="2">1.0*表1</td><td>人</td><td></td><td>敷均し作業</td><td></td></tr><tr><td>(6)</td><td>ロードローラ</td><td>マカダム10～12ton</td><td></td><td colspan="2">1.47*表1</td><td>供用日</td><td></td><td>締固め作業</td><td>排対型(1次)</td></tr><tr><td>(7)</td><td>軽油</td><td></td><td></td><td colspan="2">30*表1</td><td>L</td><td></td><td>締固め作業</td><td></td></tr><tr><td>(8)</td><td>特殊運転手</td><td></td><td></td><td colspan="2">1.0*表1</td><td>人</td><td></td><td>締固め作業</td><td></td></tr><tr><td>(9)</td><td>タイヤローラ</td><td>8～20ton</td><td></td><td colspan="2">1.49*表1</td><td>供用日</td><td></td><td>締固め作業</td><td>排対型(1次)</td></tr><tr><td>(10)</td><td>軽油</td><td></td><td></td><td colspan="2">36*表1</td><td>L</td><td></td><td>締固め作業</td><td></td></tr><tr><td>(11)</td><td>特殊運転手</td><td></td><td></td><td colspan="2">1.0*表1</td><td>人</td><td></td><td>締固め作業</td><td></td></tr><tr><td>(12)</td><td>雑品</td><td>9%</td><td></td><td colspan="2">0.09</td><td></td><td></td><td>Σ(2)～(11)</td><td></td></tr><tr><td>(13)</td><td>合計</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td>Σ(1)～(12)</td><td></td></tr><tr><td>(14)</td><td>単価</td><td></td><td></td><td colspan="2">1.0</td><td>m²</td><td></td><td>(13)/1110.0</td><td></td></tr><tr><td>(15)</td><td>1日当たり作業量</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td>m²</td><td></td><td>QD</td><td></td></tr></table>							名	称	規	格	数	量	単	位	備	考	(1)	路盤材			1110*路盤厚/100*1.27		m ³				(2)	普通作業員			0.24*1110/100*表1		人				(3)	モータグレーダ	3.1m級		1.45*表1		供用日		敷均し作業		(4)	軽油			54*表1		L		敷均し作業		(5)	特殊運転手			1.0*表1		人		敷均し作業		(6)	ロードローラ	マカダム10～12ton		1.47*表1		供用日		締固め作業	排対型(1次)	(7)	軽油			30*表1		L		締固め作業		(8)	特殊運転手			1.0*表1		人		締固め作業		(9)	タイヤローラ	8～20ton		1.49*表1		供用日		締固め作業	排対型(1次)	(10)	軽油			36*表1		L		締固め作業		(11)	特殊運転手			1.0*表1		人		締固め作業		(12)	雑品	9%		0.09				Σ(2)～(11)		(13)	合計							Σ(1)～(12)		(14)	単価			1.0		m ²		(13)/1110.0		(15)	1日当たり作業量					m ²		QD	
名	称	規	格	数	量	単	位	備	考																																																																																																																																																													
(1)	路盤材			1110*路盤厚/100*1.27		m ³																																																																																																																																																																
(2)	普通作業員			0.24*1110/100*表1		人																																																																																																																																																																
(3)	モータグレーダ	3.1m級		1.45*表1		供用日		敷均し作業																																																																																																																																																														
(4)	軽油			54*表1		L		敷均し作業																																																																																																																																																														
(5)	特殊運転手			1.0*表1		人		敷均し作業																																																																																																																																																														
(6)	ロードローラ	マカダム10～12ton		1.47*表1		供用日		締固め作業	排対型(1次)																																																																																																																																																													
(7)	軽油			30*表1		L		締固め作業																																																																																																																																																														
(8)	特殊運転手			1.0*表1		人		締固め作業																																																																																																																																																														
(9)	タイヤローラ	8～20ton		1.49*表1		供用日		締固め作業	排対型(1次)																																																																																																																																																													
(10)	軽油			36*表1		L		締固め作業																																																																																																																																																														
(11)	特殊運転手			1.0*表1		人		締固め作業																																																																																																																																																														
(12)	雑品	9%		0.09				Σ(2)～(11)																																																																																																																																																														
(13)	合計							Σ(1)～(12)																																																																																																																																																														
(14)	単価			1.0		m ²		(13)/1110.0																																																																																																																																																														
(15)	1日当たり作業量					m ²		QD																																																																																																																																																														
路盤厚は路盤の仕上り厚をcm単位とする。																																																																																																																																																																						
1. 下層路盤材を敷均し、締固めると共に散水する一連の作業である。																																																																																																																																																																						
2. 雑品は、散水に要する費用である。																																																																																																																																																																						

24	名 称	ガードレール設置	施工単位	m	
1. 適用範囲					
市場単価方式による、ガードレールの設置に適用する。					
施工単価構成内訳			1m当たり算出		
	名称	規格	数量	単位	備考
(1)	ガードレール設置工		1.0	m	市場単価方式
(2)	曲げ支柱(加算額)		1.0	m	曲げ支柱の場合 市場単価方式
(3)	基本3色(加算額)		1.0	m	基本3色の場合
(4)	合計				Σ(1)～(3)
(5)	単価		1.0	m	Σ(4)

25	名 称	ポストテンション桁製作工		施工単位	m3
1. 適用範囲					
ポストテンション単純T桁(支間長45m以下のPC定着工法)の現場製作工に適用する。セメントは早強セメントを標準とする。					
施工単価構成内訳				10.0m3当たり	
	名称	規格	数量	単位	備考
(1)	コンクリート		10.2	m3	
(2)	橋梁世話役		1.3	人	
(3)	橋梁特殊工		4.5	人	
(4)	土木一般世話役		1.7	人	
(5)	特殊作業員		1.5	人	
(6)	鉄筋工		5.1	人	
(7)	型枠工		3.9	人	
(8)	とび工		0.6	人	
(9)	普通作業員		9.3	人	
(10)	諸雑費		0.33		Σ(2)～(9)
(11)	合計				Σ(1)～(10)
(12)	単価		1.0	m3	(11)／10
1. コンクリート打設方法は門型クレーン打設を標準とする。					
2. コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用できる。					
3. 諸雑費は、鉄筋、シース等の材料費、ポストテンション桁製作工に関わる消耗品費、電力に関する経費等である。					

26	名 称	ポストテンション桁製作工：機械機具損料		施工単位	式
1. 適用範囲					
ポストテンション単純T桁（支間長45m以下のPC桁定着工法）の現場製作工法の現場製作工に使用する機械機具損料に適用する。					
施工単価構成内訳				1.0式当たり	
	名称	規格	数量	単位	備考
(1)	機械器具損料		2*供用日数	組供用日	緊張工の時
(1)	機械器具損料		1*供用日数	〃	門型クレーンの時
(1)	機械器具損料		1*供用日数*型枠数量	m ² 供用日	主桁製作鋼製型枠の場合
(2)	雑機械費		0.59	(不定)	(1) × 0.59
(3)	合計				Σ (1) ～ (2)
(4)	単価		1.0		Σ (3) / 1.000
供用日数＝0.16 × co量(m3) × 供用日補正係数＋20 （小数点1位4捨5入）					
※供用日補正係数					
	支間長L(m)	供用日数補正			
	35m以下	1			
	35mを超え40m以下	0.73			
	40mを超え45m以下	0.6			
co量(m3)＝設計量 × 1.02					
型枠数量 (m2)＝1組当り型枠面積 × 型枠組数 (1を標準)					
1. 主桁製作工鋼製型枠面積の算出に当たっては側部及び端部面積のみとし、定着部面積は考慮しないものとする。なお、底型枠は主桁製作台を利用する。					
2. 鋼製型枠は1組を標準として必要数量計上する。					
3. 雑機械費は、ポストテンション桁製作工に必要な表3の機械器具を除く雑機械の損料等の経費である。					

27	名 称	トラッククレーンPC桁架設(橋梁下)	施 工 単 位	日
----	-----	--------------------	---------	---

1. 適用範囲

トラッククレーンによるプレテンション桁及び桁質量160t未満のポストテンション桁の橋梁下からの架設工事に適用する。

プレテン桁は土地改良工事積算基準(土木工事)による。

2. ポステン規格及び数量(1.0日当たり)

表1

名称	桁区分	橋梁特殊工	普通作業員	トラッククレーン	トラッククレーン台数
ポスト テン ション	35t/本～60t/本未満	8.0	5.0	120t吊り	2
	60t/本～100t/本未満	8.0	5.0	160t吊り	2
	100t/本～160t/本未満	8.0	5.0	200t吊り	2

施工単価構成内訳

1日当り算出

名称	規格	数量	単位	備考
(1) トラッククレーンリース料		表1	日	
(2) 橋梁世話役		1.000	人	
(3) 橋梁特殊工		表1	人	
(4) 普通作業員		表1	人	
(5) 合 計				Σ(1)～(4)
(6) 単 価		1.0	日	(5)／1.0

1. 本歩掛は、現場まで搬入されたトラッククレーンにより桁運搬車又は、仮置場から直接吊上げ、所定の位置に架設できる場合のものである
2. トラッククレーンは賃料とする。
3. AまたはB活荷重桁の架設においては、型枠及び桁下足場の支持方法はインサート及びボルトによるものとする。

28	名 称	トラッククレーンPC桁架設(橋梁背面)	施工単位	日
----	-----	---------------------	------	---

1. 適用範囲

トラッククレーンによるプレテンション桁の橋梁背面からの架設工事に適用する。

2. プレテン規格及び数量(1.0日当たり)

表1

施工区分	荷重区分	桁規格	橋梁特殊工	普通作業員	トラッククレーン	トラッククレーン台数
プレテン	A活荷重	T桁(AG18~AG22)	6.0	4.0	160t吊り	1
		T桁(AG23~AG24)	6.0	4.0	200t吊り	1
		スラブ桁(AS5~AS9)	6.0	4.0	100t吊り	1
		スラブ桁(AS10,AS12)	6.0	4.0		1
		スラブ桁(AS11,AS13~AS16)	6.0	4.0		1
		スラブ桁(AS17)	6.0	4.0	120t吊り	1
		スラブ桁(AS18~AS23)	6.0	4.0	160t吊り	1
		スラブ桁(AS24)	6.0	4.0	200t吊り	1
	B活荷重	T桁(BG18~BG22)	6.0	4.0	160t吊り	1
		T桁(BG23~BG24)	6.0	4.0	200t吊り	1
		スラブ桁(BS5~BS9)	6.0	4.0	100t吊り	1
		スラブ桁(BS10,BS12)	6.0	4.0		1
		スラブ桁(BS11,BS13~BS16)	6.0	4.0		1
		スラブ桁(BS17)	6.0	4.0	120t吊り	1
		スラブ桁(BS18~BS23)	6.0	4.0	160t吊り	1
		スラブ桁(BS24)	6.0	4.0	200t吊り	1

施工単価構成内訳

1日当り算出

名称	規格	数量	単位	備考
(1) トラッククレーンリース料		表1	日	
(2) 橋梁世話役		1.000	人	
(3) 橋梁特殊工		表1	人	
(4) 普通作業員		表1	人	
(5) 合 計				Σ(1)~(4)
(6) 単 価		1.0	日	(5) / 1.0

1. 本歩掛は、現場まで搬入されたトラッククレーンにより桁運搬車又は、仮置場から直接吊上げ所定の位置に架設できる場合のものである
2. トラッククレーンは賃料とする。
3. AまたはB活荷重桁の架設においては、型枠及び桁下足場の支持方法はインサート及びボルトによるものとする。

29	名 称	架設桁架設:ポストテンション桁架設		施 工 単 位	ton
1. 適用範囲 架設桁(下路式1組桁、上路式1組桁)による、支間長20～45mのポストテンション桁の架設工事に適用する。					
施工単価構成内訳			1.0日(Aton)当たり		
	名 称	規 格	数 量	単 位	備 考
(1)	橋梁世話役		1.0	人	
(2)	橋梁特殊工		6.0	人	
(3)	普通作業員		4.0	人	
(4)	合 計				Σ(1)～(3)
(5)	単 価		1.0	ton	(4)/A
1日当たり架設重量(A)					
	支 間 (m)	架設重量			
	20m以上 35m未満	57			
	35m以上 45m以下	75			
1. この施工単価は、桁製作場又は桁仮置場から横取り、台車に積込み架設場まで桁を引き出し（200m迄）、架設、横取り、据付けまでの一連作業の場合である。					
2. 重量台車に積込む方法として横取り装置を標準とする。					
3. 桁の運搬に際し、直線距離200m迄を考えている。					

30	名称	架設桁架設：架設機械据付・解体			施工単位	式
1. 適用範囲						
ポストテンション桁（支間長20～45m）の架設機械の据付・解体に適用する。						
施工単価構成内訳			1.0式当たり			
	名称	規格	数量	単位	備 考	
(1)	ラフテレーンクレーンリース	50t	表1	日	排対型（1次）	
(2)	橋梁世話役		1.0*表1	人		
(3)	橋梁特殊工		6.0*表1	人		
(4)	普通作業員		3.0*表1	人		
(5)	合計				Σ（1）～（4）	
(6)	単価		1.0	式		
・ 架設桁の据付・解体及びトラワイヤの取付、取外し、ウィンチの据付・解体作業の場合である。						
・ ラフテレーンクレーンは、賃料とする。						
支間選択			表1			
	支 間	ラフテレーンクレーン実作業日数		据付・解体日数(日)		
支間	20～25m 未満	5.5		9.5		
支間	25～30m 未満	6.5		11.0		
支間	30～35m 未満	8.0		13.5		
支間	35～40m 未満	9.5		15.5		
支間	40～45m 以下	10.0		17.5		

31	名称	架設桁架設：架設機械移動		施工単位	回
1. 適用範囲 ポストテンション桁（支間長20～45m）の架設機械を次の支間に移動する作業に適用する。					
施工単価構成内訳			1.0回当たり		
	名称	規格	数量	単位	備 考
(1)	橋梁世話役		2.0	人	
(2)	橋梁特殊工		16.0	人	
(3)	普通作業員		10.0	人	
(4)	合計				Σ(1)～(3)
(5)	単価		1.0	回	(4)／1.0
※架設機械移動日数 3.5日					

32	名称	架設桁架設:軌道設置・撤去			施工単位	m
1. 適用範囲						
ポストテンション桁(支間長20～45m)の主桁引出し用軌道の設置・撤去に適用する。						
施工単価構成内訳				10.0m当たり		
	名称	規格	数量	単位	備 考	
(1)	橋梁世話役		0.2	人		
(2)	橋梁特殊工		0.9	〃		
(3)	普通作業員		0.9	〃		
(4)	合計				Σ(1)～(3)	
(5)	単価		1.0	m	(4)／10	

33	名称	架設桁架設:アンカー工			施工単位	箇所
1. 適用範囲						
ポストテンション桁による架設工事のアンカーを土中に設置する場合に適用する。						
施工単価構成内訳				1.0箇所当たり		
	名称	規格	数量	単位	備 考	
(1)	枕木	(2.1×0.14×0.2)	3.0	本		
(2)	ワイヤーロープ	(φ16)	15.0	m		
(3)	橋梁世話役		0.2	人		
(4)	橋梁特殊工		0.4	人		
(5)	普通作業員		0.9	人		
(6)	合計				Σ(1)～(5)	
(7)	単価		1.0	箇所	(6)／1.0	

34	名称	架設桁架設：架設機械器具費		施工単位	式
1. 適用範囲					
ポストテンション桁の架設桁による架設の場合の架設機械器具費（架設桁（1組桁）、桁吊装置、横取り装置、引出し装置、軌道設備（30kg/m））に適用する。なお、各機械器具損料はH22橋梁架設工事の積算（社）日本建設機械化協会（参考資料）によっているの、これによりがたい場合は別途積算する。					
施工単価構成内訳			1.0式当たり		
	名称	規格	数 量	単位	備 考
(1)	架設桁設備		供用日数	組	
(2)	桁吊り装置設備		2.0*供用日数	基	
(3)	横取り装置設備		供用日数	組	
(4)	引出し装置設備		供用日数	組	
(5)	軌道設備		0.01*供用日数*軌道設備長	100m日	
(6)	諸雑費		11.0	%	Σ（1）～（5）
(7)	合 計				Σ（1）～（6）
(8)	単 価		1.0	式	（7）／1.0

35	名称	架設桁架設：架設桁運搬費		施工単位	往復
1. 適用範囲					
PC桁(新活荷重)用の架設桁(1組桁)の運搬費の往復(搬入・搬出)に適用する。					
施工単価構成内訳			1.0往復当たり		
	名称	規格	数量	単位	備 考
(1)	貨物自動車運賃		表1	台	
(2)	トラッククレーン	(油)16t吊	2.0	日	
(3)	合 計				(1)+(2)
(4)	単 価		1.0	往復	(3)／1.0
・使用トラックは、10 t 積みとし、特大品割増等はない。 ・架設桁設備は、架設桁、手延機、桁吊装置、ウィンチをいう。 ・その他の付属機器は共通仮設費の運搬費に含む。 ・トラッククレーンは積み卸し及び積込作業として各 1 日計上している。					
P C桁スパンの選択 表1					
PC桁スパン		運搬台数			
25.0m 以下		12			
27.5m 以下		14			
30.0m 以下		16			
32.5m 以下		20			
35.0m 以下		22			
37.5m 以下		26			
40.0m 以下		32			
42.5m 以下		36			
45.0m 以下		38			

36	名称	横組工：鉄筋工	施工単位	kg
----	----	---------	------	----

1. 適用範囲

ポストテンションPC橋桁及びプレテンションPC橋桁（A又はB活荷重桁）の横組工の間詰床版及び横桁の鉄筋加工・組立歩掛に適用する。

施工単価構成内訳

1000.0kg当たり

	名称	規格	数量	単位	備 考
(1)	異形棒鋼		1.06	ton	
(2)	世話役		0.70	人	
(3)	鉄筋工		3.60	人	
(4)	普通作業員		1.50	人	
(5)	諸雑費		6.00	%	$\Sigma (2) \sim (4)$
(6)	合計				$\Sigma (1) \sim (5)$
(7)	単価		1.00	kg	$(6) / 1000$

- 歩掛は場内運搬を含む。
- 諸雑費は、結束線、溶接棒及び電力に関する費用である。

37	名称	横組工:コンクリート工	施工単位	m3
----	----	-------------	------	----

1. 適用範囲

ポストテンションPC橋桁及びプレテンションPC橋桁(A又はB活荷重桁)の横組の型枠及びコンクリート作業に適用しPC合成橋桁の床版は含まない。

施工単価構成内訳

10m3当たり

	名称	規格	数量	単位	備 考
(1)	生コンクリート		10.40	m3	
(2)	橋梁世話役		表1	人	
(3)	特殊作業員		表1	人	
(4)	型枠工		表1	人	
(5)	普通作業員		表2	人	
(6)	コンクリートポンプ車	圧送能力 55～60m3/h	1.50	時間	
(7)	軽油		9.9*1.5	L	
(8)	運転手(特殊)		1.50	人	
(9)	諸雑費		表2/100		
(10)	合計				Σ(1)～(9)
(11)	単価		1.00	m3	(10)／10

- ・配管打設の場合は、圧送管組立・撤去労務(30m程度)を含む
- ・諸雑費は、型枠用材料、はく離材、養生マット等及び電力に関する費用である。
- ・養生については、養生覆材の被覆・水散布養生を標準とする。養生面積は、間詰床版の面積とする。

桁区分の選択

表1

桁区分	橋梁世話役	特殊作業員	型枠工
ポストテンション桁	3.4	1.6	13.5
プレテンションT桁	3.4	1.6	13.5
プレテンション床版	0.8	1.6	2.5

養生区分の選択

表2

桁区分	養生区分	普通作業員	諸雑費
ポストテンション桁	一般養生	12.0	8.0
	保温養生等	9.9	7.0
プレテンションT桁	一般養生	12.0	8.0
	保温養生等	9.9	7.0
プレテンション床版	一般養生	5.4	12.0
	保温養生等	3.3	6.0

38	名称	横組工:PCケーブル横締工	施工単位	本
----	----	---------------	------	---

1. 適用範囲

プレストレストコンクリート桁[A又はB活荷重桁](プレテンション桁及びポストテンション桁)の横組工のうち、横締1本当りに要するPCケーブルの切断、シースの組立、ケーブルの挿入、整正、グラウトの注入に適用する。

施工単価構成内訳

10本当たり

名称	規格	数量	単位	備考
(1) PCケーブル		1本当たりケーブル実延長*表2*1.06*10	kg	
(2) CCLグリップ等		20.00	個	定着装置を計上する場合
(3) グリット筋		20.00	組	
(4) アンカープレート		20.00	個	
(5) 橋梁世話役		表1/100*10*1本当たりケーブル実延長	人	
(6) 橋梁特殊工		表1/100*10*1本当たりケーブル実延長	〃	
(7) 普通作業員		表1/100*10*1本当たりケーブル実延長	〃	
(8) 諸雑費		表1/100		Σ(5)～(7)
(9) 合計				Σ(1)～(8)
(10) 単価		1.00	本	(9)/10

・ 諸雑費は、シース、グラウト材料、シール材料等及び電力に関する費用である。

桁種別、ケーブル規格の選択

表1

桁種別	システム種別	ケーブル規格	橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	諸雑費率(%)
プレテンション 桁	シングルストラット システム	390kN(40t)型(1S17.8)	0.7	2.2	1.3	16
		450kN(50t)型(1S19.3)	0.7	2.2	1.3	16
		570kN(60t)型(1S21.8)	0.7	2.2	1.3	16
ポストテンション 桁	シングルストラット システム	390kN(40t)型(1S17.8)	0.7	3.3	1.9	11
		450kN(50t)型(1S19.3)	0.7	3.3	1.9	11
		570kN(60t)型(1S21.8)	0.7	3.3	1.9	11
	マルチワイヤシステム	700kN(70t)型(12W7A)	0.7	2.6	1.6	15

定着装置の選択

表2

桁種別	システム種別	ケーブル規格	ケーブル重量(kg/m)
プレテンション 桁	シングルストラット システム	390kN(40t)型(1S17.8)	1.652
		450kN(50t)型(1S19.3)	1.931
		570kN(60t)型(1S21.8)	2.482
ポストテンション 桁	シングルストラット システム	390kN(40t)型(1S17.8)	1.652
		450kN(50t)型(1S19.3)	1.931
		570kN(60t)型(1S21.8)	2.482
	マルチワイヤシステム	700kN(70t)型(12W7A)	3.624

39	名称	横組工：緊張工	施工単位	ケーブル
----	----	---------	------	------

1. 適用範囲

PCポストテンション桁及びプレテンション桁(A又はB活荷重桁)の横組緊張工(定着装置組立、緊張、モルタルあと埋め作業)に適用する。

施工単価構成内訳

10ケーブル当たり

	名称	規格	数量	単位	備考
(1)	橋梁世話役		表1	人	
(2)	橋梁特殊工		表1	〃	
(3)	普通作業員		表1	〃	
(4)	諸雑費		表1/100		Σ(1)～(3)
(5)	合計				Σ(1)～(4)
(6)	単価		1.00	本	(4)/10

- ・緊張は片締めを標準とする。
- ・諸雑費は電力に関する費用である。

緊張工種類の選択

表1

システム種別	ケーブル規格	橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	諸雑费率(%)
マルチワイヤシステム	700kN(70t)型(12W7A)	0.3	1.6	0.7	4.0
シングルストランドシステム	390kN(40t)型(1S17.8)	0.4	1.2	0.6	4.0
	450kN(50t)型(1S19.3)	0.4	1.2	0.6	4.0
	570kN(60t)型(1S21.8)	0.4	1.2	0.6	4.0

40	名称	横組工：緊張ジャッキ損料			施工単位	式
1. 適用範囲						
PCポストテンション桁及び、プレテンション桁の横締に使用するジャッキ損料に適用する。						
施工単価構成内訳		1.0工事当たり				
	名称	規 格	数 量	単 位	備 考	
(1)	緊張ジャッキ		H	供用日		
(2)	合計				(1)	
(3)	単価		1.00	式	(2)/1.0	

・横締は、片締めとする。

$H = (n/N) \times K \times 1.5$

H：緊張ジャッキ供用日数

K：1工事の径間数

n：1径間片締め本数

N：1日当たりの片締め本数

※1日当たりの片締め本数は
 シングルストラットシステム 39本
 マルチワイヤシステム 31本
 を標準とする

41

名称

ブルドーザ敷均(二次運土・客土)

施工単位

m³

1. 適用範囲

ブルドーザによるほ場整備工事のうち、二次運土及び客土の敷均し作業に適用する。

2. 適用機種、規格の選択

表1

機種の選択	運転労務	労務数量(人/日)	燃料消費量(L/日)	機械損料数量
普通ブル 15t	運転手(特殊)	1	113	1.55
普通ブル 21t	運転手(特殊)	1	165	1.55
湿地ブル 16t	運転手(特殊)	1	122	1.64

3. 現場条件の選択

機種の選択	作業条件(m ³ /日)	
	標準	障害あり
普通ブル 15t	690	350
普通ブル 21t	980	570
湿地ブル 16t	560	350

作業条件は下記による。

標準: 作業現場が広く、かつ作業妨害が少ない場合。

障害あり: 作業現場が狭く、かつ作業妨害が多い場合。

施工単価構成内訳

1日(m3)当り算出

名称	規格	数量	単位	備考
(1)ブルドーザ	表1	表1	供用日	排対型(1次)
(2)軽油	ハトロール給油	表1	L	
(3)運転手(特殊)		表1	人	
(4)合計				Σ(1)～(3)
(5)単価		1.0	m ³	(4)／QD
(6)1日当り作業量			m ³	QD

42	名称	畑面ほ場整備整地工(ブルドーザ)		施工単位	ha
----	----	------------------	--	------	----

1. 適用範囲

現況地形の平均勾配が1/10を超える急傾斜地の場合のほ場整備工事にあつて、基盤造成が完了した後に行う、均平度±50mmの基盤整地作業及び表土整地作業に適用する。

2. 適用機種 (ha/hr) 表1

造成土量	機種	運転1時間当たり標準作業量(So)
1,000m3未満	湿地ブルドーザ13t級	0.175
1,000～15,000m3未満	普通ブルドーザ15t級	0.169
15,000～30,000m3未満	湿地ブルドーザ16t級	0.177

3. 作業効率(E) 表2

作業条件	基盤整地	表土整地
良好	0.90	0.60
普通	0.70	0.45
不良	0.50	0.30

作業条件は良好を標準とする。

4. 整地作業の運転1時間当たり作業量(A)

$A = So \times E$ (ha/hr)

A: 運転1時間当たり作業量(ha/hr) (小数点以下3位四捨五入2位止め)

So: 運転1時間当たり標準作業量(ha/hr) (表1)

E: 作業効率(表2) (表2)

5. 労務歩掛(人/ha) 表3

作業内容	世話役	普通作業員
基盤整地	0.1	3.5
表土整地	0.3	3.5

施工単価構成内訳 1時間(Aha)当たり算出

名称	規格	数量	単位	備考
(1) ブルドーザ	表1	1.0	時間	排対型(1次)
(2) 軽油		NH	L	
(3) 運転手(特殊)		YX4	人	
(4) 世話役		0.1*A	人	基盤整地の時
(4) 世話役		0.3*A	人	表土整地の時
(5) 普通作業員	補助労務	3.5*A	人	
(6) 合計				Σ(1)～(5)
(7) 単価		1.0	ha	(6)/A
(8) 1日当たり作業量			ha	QD

NH=機関出力×運転1時間当たり燃料消費率

YX4=1/1日当たり運転時間 ※ブル1日当たり運転時間=(3)欄/(4)欄

43	名称	暗渠排水工(バックホウ掘削)	施工単位	m
----	----	----------------	------	---

1. 適用範囲

ほ場整備工事おける、水田及び畑地の暗渠排水工の施工(バックホウによる掘削)に適用する。

1日当たりの施工量(m)

表1

平均掘削深	1日当たり施工量(m/日)
0.3	567
0.4	535
0.5	503
0.6	471
0.7	439
0.8	407
0.9	375
1.0	343
1.1	311
1.2	279
1.3	247

施工単価構成内訳

1日(QDm)当たり算出

名	称	規	格	数	量	単	位	備	考
(1)	バックホウ	山0.28m3(平0.20m3)		1.5		供用日		排対型(1次)	
(2)	軽油			41		L			
(3)	特殊運転手			1.0		人			
(4)	合計							Σ(1)~(3)	
(5)	単価			1.0		m		(4)/QD	
(6)	1日当たり作業量					m		QD	

1. 1日当たり作業量(QD)は次の算定式によって求める。

$$QD = \text{表1(1日当たり施工量)}(m/\text{日})$$

44	名称	人力石礫除去工	施工単位	ha																																																																				
1. 適用範囲																																																																								
ほ場面又は、造成面に露出している5cmから35cm程度の石礫を人力で採取し、不整地運搬車に積み込み、集積場まで運搬し、卸す一連の作業に適用する。																																																																								
能力算定式																																																																								
1日当たり作業量(QD)																																																																								
$QD = \frac{1}{\text{普通作業員(表1)}} \div 10$																																																																								
10a当たり除去量の選択			表1																																																																					
<table><tr><th rowspan="2">10a当たり除去量 (m3／10a未満)</th><th colspan="2">10a当たり数量</th></tr><tr><th>普通作業員(人)</th><th>運転日数(T1)</th></tr><tr><td>0.5未満</td><td>0.56</td><td>0.12</td></tr><tr><td>0.5～1</td><td>0.78</td><td>0.13</td></tr><tr><td>1～2</td><td>1.21</td><td>0.15</td></tr><tr><td>2～3</td><td>1.65</td><td>0.18</td></tr><tr><td>3～4</td><td>2.08</td><td>0.20</td></tr><tr><td>4～8</td><td>3.82</td><td>0.30</td></tr><tr><td>8～12</td><td>5.56</td><td>0.39</td></tr><tr><td>12～16</td><td>7.30</td><td>0.49</td></tr><tr><td>16～20</td><td>9.04</td><td>0.59</td></tr><tr><td>20～24</td><td>10.80</td><td>0.68</td></tr><tr><td>24～28</td><td>12.50</td><td>0.78</td></tr></table>					10a当たり除去量 (m3／10a未満)	10a当たり数量		普通作業員(人)	運転日数(T1)	0.5未満	0.56	0.12	0.5～1	0.78	0.13	1～2	1.21	0.15	2～3	1.65	0.18	3～4	2.08	0.20	4～8	3.82	0.30	8～12	5.56	0.39	12～16	7.30	0.49	16～20	9.04	0.59	20～24	10.80	0.68	24～28	12.50	0.78																														
10a当たり除去量 (m3／10a未満)	10a当たり数量																																																																							
	普通作業員(人)	運転日数(T1)																																																																						
0.5未満	0.56	0.12																																																																						
0.5～1	0.78	0.13																																																																						
1～2	1.21	0.15																																																																						
2～3	1.65	0.18																																																																						
3～4	2.08	0.20																																																																						
4～8	3.82	0.30																																																																						
8～12	5.56	0.39																																																																						
12～16	7.30	0.49																																																																						
16～20	9.04	0.59																																																																						
20～24	10.80	0.68																																																																						
24～28	12.50	0.78																																																																						
・ 不整地運搬車クローラ型油圧ダンプ式の1日当たり運転時間(T)＝6.9時間																																																																								
施工単価構成内訳			10a当たり算出																																																																					
<table><tr><th>名</th><th>称</th><th>規</th><th>格</th><th>数</th><th>量</th><th>単</th><th>位</th><th>備</th><th>考</th></tr><tr><td>(1)</td><td>不整地運搬車</td><td rowspan="7">クローラ型油圧ダンプ式2.0t</td><td rowspan="7">不整地運搬車運転</td><td>表1</td><td></td><td>日</td><td></td><td rowspan="4">排対型(1次)</td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>軽油</td><td>9.0*表1</td><td></td><td>L</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>特殊運転手</td><td>表1</td><td></td><td>人</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>普通作業員</td><td>表1</td><td></td><td>人</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(5)</td><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Σ(1)～(4)</td><td></td></tr><tr><td>(6)</td><td>単価</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td><td>ha</td><td></td><td>(5)*10</td></tr><tr><td>(7)</td><td>1日当たり作業量</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>ha</td><td></td><td>QD</td></tr></table>					名	称	規	格	数	量	単	位	備	考	(1)	不整地運搬車	クローラ型油圧ダンプ式2.0t	不整地運搬車運転	表1		日		排対型(1次)		(2)	軽油	9.0*表1		L			(3)	特殊運転手	表1		人			(4)	普通作業員	表1		人			(5)	合計						Σ(1)～(4)		(6)	単価			1.0		ha		(5)*10	(7)	1日当たり作業量					ha		QD
名	称	規	格	数	量	単	位	備	考																																																															
(1)	不整地運搬車	クローラ型油圧ダンプ式2.0t	不整地運搬車運転	表1		日		排対型(1次)																																																																
(2)	軽油			9.0*表1		L																																																																		
(3)	特殊運転手			表1		人																																																																		
(4)	普通作業員			表1		人																																																																		
(5)	合計								Σ(1)～(4)																																																															
(6)	単価					1.0		ha		(5)*10																																																														
(7)	1日当たり作業量							ha		QD																																																														
・ 運搬距離は100m程度までとする。																																																																								
・ 集積場での卸しは油圧ダンプによる。																																																																								

45

名称

保孔管挿入工(ガス管)

施工单位

m

1. 適用範圍

地すべり工事の地表水抜ボーリング並びに集水井内水抜ボーリングでの保孔管(ガス管)の設置に適用する。

2. 設置区分の選択

表 1

設置区分	世話役	特殊作業員	普通作業員	ボーリングマシン運転日数
地表設置	0.22	0.66	0.44	0.41
集水井内設置	0.31	1.14	0.57	0.48

3. 配管工(切断及びネジ加工)

表2

ガス管種	設置区分			
	地表設置		集水位内設置	
	配管工(切断)	配管工(ネジ加工)	配管工(切断)	配管工(ネジ加工)
40A	—	0.94	0.08	1.89
80A	—	1.78	0.14	3.55
90A	—	2.00	0.18	4.00

施工単価構成内訳

44.000m当たり算出

名 称	規 格	数 量	単 位	備 考
(1) ガス管	表2	8.000	本	40A・80Aの時
(1) ガス管	90A	5.5m*8.0本	m	
(2) 配管工(切断)		表2	人	
(3) 配管工(ネジ加工)		表2	人	
(4) 世話役		表1	人	
(5) 特殊作業員		表1	人	
(6) 普通作業員		表1	人	
(7) ホーリングマシン	5.5kw級	表1	日	発電・電力の場合
(7) ホーリングマシン	5.5kw級	表1	日	内燃機関の場合
(8) 発動発電機	排対型45KVA	1.09*表1	日	発発(排対型)の場合
(9) 電力料		2.500*6.4*表1	KWH	電力使用の場合
(9) 軽油		7.100*6.4*表1	L	発動発電機の場合
(9) 軽油		0.88*6.4*表1	L	内燃機関の場合
(10) 合計				Σ(1)～(9)
(11) 単価		1.0	m	(10)/44.0

- ・集水井内での保孔管挿入については、定尺5.5m管を二つ切りにして使用するものとする。
- ・ガス管切斷及びネジ加工を含む。

46	名称	ガス管孔あけ加工	施工単位	m																																																		
1. 適用範囲																																																						
ガス管のパイプストレナー加工に適用する。																																																						
2. ガス管種の選択		表1																																																				
<table><tr><td>ガス管種</td><td>配管工</td></tr><tr><td>40A</td><td>0.96</td></tr><tr><td>80A</td><td>1.28</td></tr><tr><td>90A</td><td>1.40</td></tr></table>		ガス管種	配管工	40A	0.96	80A	1.28	90A	1.40																																													
ガス管種	配管工																																																					
40A	0.96																																																					
80A	1.28																																																					
90A	1.40																																																					
・1m当たりの孔数を40孔とする。																																																						
施工単価構成内訳		10.000m当たり算出																																																				
<table><tr><td>名</td><td>称</td><td>規</td><td>格</td><td>数</td><td>量</td><td>単</td><td>位</td><td>備</td><td>考</td></tr><tr><td>(1)</td><td>配管工</td><td></td><td></td><td>表1</td><td></td><td>人</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Σ(1)</td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>単価</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td><td>m</td><td></td><td>(2)/10.0</td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>1日当たり作業量</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>m</td><td></td><td>QD</td><td></td></tr></table>		名	称	規	格	数	量	単	位	備	考	(1)	配管工			表1		人				(2)	合計							Σ(1)		(3)	単価			1.0		m		(2)/10.0		(4)	1日当たり作業量					m		QD				
名	称	規	格	数	量	単	位	備	考																																													
(1)	配管工			表1		人																																																
(2)	合計							Σ(1)																																														
(3)	単価			1.0		m		(2)/10.0																																														
(4)	1日当たり作業量					m		QD																																														

47	名称	保孔管設置	施工単位	m					
1. 適用範囲 調査ボーリングのパイプ（VP40mm）挿入に適用する。有孔管の場合は穴あけ加工手間を含んでいる。									
2. 各種数量の選択		表1							
適用区分		普通作業員							
無孔管		0.30							
有効管		1.18							
施工単価構成内訳		20.000m当たり算出							
名	称	規	格	数	量	単	位	備	考
(1)	普通作業員			表1		人			
(2)	合計							(1)	
(3)	単価			1.0		m		(2)/20.0	
(4)	1日当たり作業量							QD	

48	名称	地すべり実態調査			施工単位	ha																																																																																																				
1. 適用範囲 地すべり地の現地踏査に適用する。 2. 面積による補正率の選択 表1 <table border="1"> <tr> <th>調査必要面積</th> <th>補正率</th> </tr> <tr> <td>10ha未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>10～30ha未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>30～50ha未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>50～100ha未満</td> <td>0.7</td> </tr> </table> ・ 調査必要面積のみ調査することとし、面積による補正率を選択する。 施工単価構成内訳 10.000ha当たり算出 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名</th> <th>称</th> <th>規</th> <th>格</th> <th>数</th> <th>量</th> <th>単</th> <th>位</th> <th>備</th> <th>考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>設計用技師(B)</td> <td></td> <td>内業</td> <td>0.6*表1</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>設計用技師(B)</td> <td></td> <td>外業</td> <td>0.6*表1</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>設計用技師(C)</td> <td></td> <td>内業</td> <td>0.6*表1</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4)</td> <td>設計用技師(C)</td> <td></td> <td>外業</td> <td>0.6*表1</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5)</td> <td>普通作業員</td> <td></td> <td></td> <td>1.2*表1</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6)</td> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td>1.00/100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(2)+(4)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(7)</td> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>$\Sigma(1) \sim (6)$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(8)</td> <td>単価</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(7)/10.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・ 面積は調査対象の実面積である。 ・ 本表は予備調査・現地踏査までを含んだものである。							調査必要面積	補正率	10ha未満	1.0	10～30ha未満	0.9	30～50ha未満	0.8	50～100ha未満	0.7	名	称	規	格	数	量	単	位	備	考	(1)	設計用技師(B)		内業	0.6*表1		人				(2)	設計用技師(B)		外業	0.6*表1		人				(3)	設計用技師(C)		内業	0.6*表1		人				(4)	設計用技師(C)		外業	0.6*表1		人				(5)	普通作業員			1.2*表1		人				(6)	雑材料			1.00/100				(2)+(4)		(7)	合計							$\Sigma(1) \sim (6)$		(8)	単価			1.0				(7)/10.0	
調査必要面積	補正率																																																																																																									
10ha未満	1.0																																																																																																									
10～30ha未満	0.9																																																																																																									
30～50ha未満	0.8																																																																																																									
50～100ha未満	0.7																																																																																																									
名	称	規	格	数	量	単	位	備	考																																																																																																	
(1)	設計用技師(B)		内業	0.6*表1		人																																																																																																				
(2)	設計用技師(B)		外業	0.6*表1		人																																																																																																				
(3)	設計用技師(C)		内業	0.6*表1		人																																																																																																				
(4)	設計用技師(C)		外業	0.6*表1		人																																																																																																				
(5)	普通作業員			1.2*表1		人																																																																																																				
(6)	雑材料			1.00/100				(2)+(4)																																																																																																		
(7)	合計							$\Sigma(1) \sim (6)$																																																																																																		
(8)	単価			1.0				(7)/10.0																																																																																																		

49	名称	地下水調査(携帯用触針式水位計)	施工単位	月					
1. 適用範囲									
人力による地下水位測定(4回/月)及び資料整理に要する1ヶ所当りの経費である。									
施工単価構成内訳			1.000月当たり算出						
名	称	規	格	数	量	単	位	備	考
(1)	地質調査技師		内業	0.004		人			
(2)	主任地質調査員		外業	0.200		人			
(3)	主任地質調査員		内業	0.052		人			
(4)	雑材料			1.00/100				Σ(1)~(3)	
(5)	合計							Σ(1)~(4)	
(6)	単価			1.0		月		(5)/1.000	
▪観測には、次の観測地までの移動時間を含む。									
▪資料整理には、水位変動図作成および簡単な考察を含む。									

50	名称	パイプ歪計			施工単位	孔	
1. 適用範囲							
パイプ歪形(1方向)の設置、観測・資料整理に適用する。							
2. 各種数量の選択					表1		
適用区分		主任地質調査員(外業)		地質調査技師(内業)			
設置(1孔当り)		0.20		—			
観測・資料整理(1回当り)		0.07		0.001			
3. 設置長さによる補正値の選択					表2		
設置長さによる補正		補正値					
16m未満		1.0					
16m～30m未満		1.5					
30m～45m未満		2.0					
45m～60m未満		2.5					
60m以上		3.0					
4. 歪計(ストレージ)による補正					表3		
歪計(ストレージ)による補正			1.00				
歪計の設置ではストレージは12本としているので、これによらない場合は、下記により補正し、その値を記入する。							
補正値＝1孔当たりストレージ数／12(補正値は小数点以下3位四捨五入2位止まりとする。							
施工単価構成内訳					1孔当たり算出		
名	称	規	格	数	量	単 位	備 考
(1)	地質調査技師	外業		0.2*表2		人	設置の時
(2)	普通作業員			0.2*表2		人	設置の時
(3)	主任地質調査員	外業		表1*表2		人	
(4)	地質調査技師	内業		表1*表2		人	観測・資料整理の時
(5)	主任地質調査員	内業		0.036		人	観測・資料整理の時
(6)	図工(測量業務助手)			0.024		人	観測・資料整理の時
(7)	パイプ式歪計 1方向	(保孔管1 m含む)		12.0*表3		本	設置の時
(8)	リード線			84.0*表3		m	設置の時
(9)	雑材料			5.0/100			設置の時(7)＋(8)
(9)	雑材料			1.0/100			観測・資料整理の時 (3)＋(4)＋(5)
(10)	合計						Σ(1)～(9)
(11)	単価			1.0		回	(10)/1.0

51	名称	孔内傾斜計			施工単位	孔
1. 適用範囲						
孔内傾斜計の設置・撤去、観測、資料整理に適用する。						
2. 作業項目の選択						表1
適用区分	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	普通作業員	雑品	
設置・撤去 (1孔当たり)	0.4	0.4	0.4	0.8	7.0	
観測 (1孔・1回当たり)	-	0.1	0.1	-	1.0	
資料整理 (1孔1月当たり)	0.2	0.5	0.5	-	1.0	

施工単価構成内訳					1.000孔当たり算出				
名	称	規	格	数	量	単	位	備	考
(1)	地質調査技師	孔内傾斜計		表1		人		設置の場合で材料費を計上する場合 観測の時 (5) 設置・撤去の時 Σ(1)～(4) 設置・撤去以外の時 Σ(1)～(7) (8)/1.00	
(2)	主任地質調査員			表1		人			
(3)	地質調査員			表1		人			
(4)	普通作業員			表1		人			
(5)	材料費			1.00		式			
(6)	機械器具損料			0.1		台・日			
(7)	雑品			表1/100.0					
(7)	雑品			表1/100.0					
(8)	合計								
(9)	単価			1.0		孔			

52	名 称	ボーリングマシン足場工	施工単位	空 m^3
----	-----	-------------	------	---------

1. 適用範囲

グラウト工用ボーリングマシンに適用する。尚、横孔ボーリング工用ボーリングマシンの足場工(地表)にも適用できる。

施工単価構成内訳

100空 m^3 当たり

名 称	規格	数量		単位	備 考
		平地	傾斜地		
(1) 世話役		2.4	3.1	人	
(2) とび工		2.4	3.1	〃	
(3) 普通作業員		4.7	6.2	〃	
(4) トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊り	0.3	0.5	日	
(5) 諸雑费率		29	20	%	$\Sigma(1) \sim (3)$
(6) 合 計					$\Sigma(1) \sim (5)$
(7) 単 価		1.0		空 m^3	$(6) / 100$

- ・作業面の足場幅は4.5mとする。
- ・トラッククレーンの規格は現場条件により変更することができる。
- ・トラッククレーンは賃料とする。
- ・諸雑費は、足場材の損料であり、労務費の合計金額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。

53	名称	ため池堤体締固工(振動ローラ締固め)	施工単位	m ³					
1. 適用範囲									
振動ローラによるため池堤体工事の刃金土、鞘土、背面盛土の締固めを行う作業に適用する。									
施工単価構成内訳			1日(QDm ³)当たり算出						
名	称	規	格	数	量	単	位	備	考
(1)	振動ローラ (搭乗式コンバインド型)	3.0~4.0		1.6		日		賃料	排対型(1次)
(2)	軽油			13		L			
(3)	特殊運転手			1.0		人			
(4)	合計							Σ(1)~(3)	
(5)	単価			1.0		m ³		(4)／QD	
・振動ローラは賃料とする。									
能力算定式									
1. 運転1時間当たり作業量									
Q = $\frac{V \times W \times D \times E}{N}$					(小数点以下3位四捨五入2位止まり)				
D : 仕上がり厚さ(締固め後の厚さ)(m)									
V : 締固め速度=1000(m／hr)									
W : 1回の有効締固め幅=0.8(m)									
N : 締固め回数									
E : 作業効率=0.4									
2. 1日当たり作業量(QD)									
QD=Q×T(m ³ ／日)									
Q : 運転1時間当たりの作業量									
T : 振動ローラの1日当たり運転時間=4.3(時間)									

54	名称	法止ブロック	施工単位	m
1. 適用範囲				
法尻に施工する法止ブロックに適用する。				
2. 設置歩掛				
10m当たり				
ブロック規格		普通作業員(人)		
1型(30cm)		0.39		
2型(40cm)		0.52		

55	名称	カーブミラー設置	施工単位	箇所
1. 適用範囲				
カーブミラーΦ80～100cmの設置に適用する。				
2. 設置歩掛				
1箇所当たり				
カーブミラー		普通作業員(人)		
Φ80cm		0.5		
Φ100cm		0.5		

56	名称	落口工人力布設			施工単位	箇所
1. 適用範囲						
ほ場整備工事等において耕地より落水するために使用するU型工等の布設に適用する。						
2. 設置歩掛						
						10箇所当たり
種別	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	クレーン装置付 バックホウ (hr)		
落 口	0.2	0.1	0.1	2.6		
受 口	0.1	0.1	0.2	0.0		
落口直線50cm	0.1	0.1	0.2	0.0		
落口直線100cm	0.2	0.1	0.1	2.6		
クレーン装置付バックホウの規格は山積0.45m ³ (平積0.35m ³)とし排出ガス対策型(1次)を使用する。						

57	名称	分水トラフ			施工単位	箇所
1. 適用範囲						
分水トラフA型取水工の(240, 300, 360, 400, 450, 600型)の人力布設に適用する。						
2. 設置歩掛						
						10箇所当たり
種別	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	雑品 (%)	クレーン装置付 バックホウ (hr)	
240型	0.2	0.2	0.4	5.0	0.0	
300型	0.2	0.2	0.4	5.0	0.0	
360型	0.2	0.2	0.4	5.0	0.0	
400型	0.2	0.2	0.4	5.0	0.0	
450型	0.2	0.2	0.55	5.0	0.8	
600型	0.2	0.2	0.55	5.0	0.8	
クレーン装置付バックホウの規格は山積0.45m ³ (平積0.35m ³)とし排出ガス対策型(1次)を使用する。						

59	名称	報告書作成用単価一覧表			
	名称	規格	単位	単価(円)	備考
1	原図入れ筒	A1 10枚	本	840	
2	原図入れ筒	A1 30枚	本	1,430	
3	原図入れ筒	A1 50枚	本	1,850	
4	図面袋	A1 10枚	枚	400	
5	図面袋	A1 30枚	枚	400	
6	報告書焼付代(コピー)	A4以下 100枚	部	1,500	
7	報告書焼付代(コピー)	A4以下 200枚	部	3,000	
8	報告書焼付代(コピー)	A4以下 300枚	部	4,500	
9	報告書焼付代(コピー)	A4以下 400枚	部	6,000	
10	報告書焼付代(コピー)	A4以下 500枚	部	7,500	
11	報告書表紙代	厚手(金文字入) A4	部	2,370	
12	報告書表紙代	薄手(黒文字入) A4	部	2,280	
13	図面焼付代	A1	枚	60	青焼
14	ポリエステルシート	#300 A1版	枚	322	片面
15	簡易加除式ファイル	A4縦 幅3cm(チューブ・ハーフ)	冊	533	
16	簡易加除式ファイル	A4縦 幅5cm(チューブ・ハーフ)	冊	600	
17	簡易加除式ファイル	A4縦 幅8cm(チューブ・ハーフ)	冊	700	
18	簡易加除式ファイル	A4縦 幅10cm(チューブ・ハーフ)	冊	840	
19	CD-R	650M	枚	61	

※単価は県内統一価格